

# 巻末資料

博物館や資料館など	250
参考資料	253
用語解説	258
さくいん	265

第1章 十勝の平野や川ができるまで

第2章 先史時代と川

第3章 アイヌ文化と川

第4章 十勝開拓と川

第5章 発展、今、そして未来へ

用語

さくいん

注：展示内容・開館日・料金などは変更されることがあります。事前に各館などへお問い合わせ下さい。

あしよろ どうぶつ か せきはくぶつかん

**足寄動物化石博物館** 足寄町郊南1丁目 電話:0156-25-9100 (展示写真→p26・27・28・30・34・43)

1千万年以上前に絶滅したほ乳類やクジラなどの化石を中心にした展示。レプリカ(化石複製)作成体験もできる。

- 開館時間: 9:30~16:30 ■休館日: 火曜日(祝日の時はその翌日・GWと夏休み期間は開館)・年末年始
- 入館料: 小中高校生200円(町内の小中学生は無料)・一般400円・65歳以上200円(団体割引あり)



うら ぼろ ちやうりつ はくぶつかん

**浦幌町立博物館** 浦幌町字桜町16番地の1(らぼろ21内) 電話:015-576-2009 (展示写真→p93・100)

自然・アオサギの世界・石器と土器の文化・十勝浦幌の自然誌・アイヌのくらし・十勝浦幌のあゆみ、などの展示。

- 開館時間: 10:00~17:00 ■休館日: 月曜日・祝日・年末年始
- 入館料: 無料



おと ふけ ちやうのう そん かん きやうかい ぜん きやう ど しりょうしつ  
**音更町農村環境改善センター 郷土資料室** 音更町希望が丘1番地 電話:0155-42-4099

音更村ができてからの歴史の紹介。開拓期から使用された道具、音更町の遺跡で発掘された土器や石器などの展示。

- 開館時間: 8:45~17:30 ■休館日: 土曜日・日曜日・祝日・年末年始
- 入館料: 無料



おび ひろ ひやくねん き ねん かん じやうせつ てん じ しつ  
**帯広百年記念館 常設展示室** 帯広市緑ヶ丘2番地 電話:0155-24-5352 (展示写真→p58・62・73・78・79・86・91・104・118・121・128・136)

十勝の自然や歴史、アイヌの人々の生活、先史時代のようす、十勝平野の形成などを展示。

- 開館時間: 9:00~17:00(入場は16:30まで) ■休館日: 月曜日(祝日は開館)・祝日の翌日(土日は開館)・年末年始
- 観覧料: 小中学生無料・高校生300円・おとな400円・十勝の65歳以上200円(団体割引あり)



帯広百年記念館(展示室は1F、リウカは2F)

みんぞくぶんか じやうほう  
帯広百年記念館 **アイヌ民族文化情報センター「リウカ」** 帯広市緑ヶ丘2番地(帯広百年記念館内) 電話:0155-24-5352 (写真→p151)

アイヌ文化に関する本などの資料、ビデオやCDなど音や映像、伝承遊びを通して、アイヌ文化にふれることができる。

- 開館時間: 9:00~16:30 ■休館日: 月曜日(祝日は開館)・祝日の翌日(土日は開館)・年末年始 ■入場料: 無料



埋蔵文化財センター

まいぞうぶんか ざい  
帯広百年記念館 **埋蔵文化財センター** 帯広市西23条南4丁目26-8 電話 0155-41-8731

帯広市内の遺跡から出土した土器や石器などの展示。整理作業の見学もできる。

- 開館時間: 9:00~17:00 ■休館日: 日曜日・月曜日(祝日は開館)・祝日の翌日・年末年始 ■入館料: 無料

さらべつむら かんてんじ  
**更別村ふるさと館 展示コーナー** 更別村字更別189番地 電話:0155-52-2211

ふるさと館のロビーに、歴史年表とそれに対応した写真、また、昔使われた農機具やトラクターなどが展示してある。

- 開館時間: 9:00~22:00 ■休館日: 月曜日・年末年始
- 見学科: 無料(ふるさと館の他の施設には使用料がかかる)



しか おいちやうきやう ど しりょうしつ  
**鹿追町郷土資料室** 鹿追町東町1丁目38番地(鹿追町図書館内) 電話:0156-69-7170

開拓当時の農機具や生活資料、北海道拓殖鉄道に関する資料、縄文時代の土器や石器などを展示。

- 開館時間: 10:00~17:00 ■休館日: 月曜日・祝日(月曜日が祝日の時は火曜日も休館)・年末年始
- 入場料: 無料



しみずちやうきやう ど しりょうかん  
**清水町郷土史料館** 清水町南4条1丁目2番地 電話:0156-62-3030

先史時代、開拓時代、そして発展してきた清水町の歴史を5つの時代に分けて実物・写真・パネルなどで紹介。

- 開館時間: 10:00~18:00 ■休館日: 火曜日・祝日・月末・年末年始
- 入館料: 無料



第1章 十勝の平野や川がひろがる  
第2章 先史時代と川  
第3章 アイヌ文化と川  
第4章 十勝開拓と川  
第5章 発展、今、そして未来へ

用語  
なごん

しん とく ちやう きやう ど し りやう しやう ぞう こ

### 新得町郷土資料収蔵庫

新得町字新内西1線 問合せ・申込み:町教育委員会 0156-64-0532

開拓期以降の郷土資料を収蔵。見学には事前申し込みが必要。郷土研究会の方に解説してもらえる。

■開館時間:ふだんは公開していない■見学可能日:平日(冬の積雪期は不可)

■見学料:無料



せき かん さい し りやう かん

### 関寛斎資料館(陸別町)

陸別町大通(オーロラタウン93)くべつ内 問合せ:町教育委員会 0156-27-2123

千葉に生まれ、徳島で人生の大半を過ごした医師で、72歳の時陸別に入植した関寛斎の資料館。日記や資料を展示。

■開館時間:9:30~16:30■休館日:月曜日・祝日の翌日・年末年始

■入館料:300円



たい き ちやう と しよ かん きやう ど し りやう しつ

### 大樹町図書館 郷土資料室

大樹町東本通51番地1 電話:01558-6-3445

大樹町の遺跡で出土した、縄文時代の土器を中心とした土器や石器が展示してある。

■開館時間:10:00~18:15■休館日:月曜日・祝日(月曜日が祝日の時は火曜日も休館)・年末年始

■入館料:無料



ちか う し きやう ど し りやう こ

### 近牛郷土資料庫(池田町)

池田町字近牛20番地 問合せ・申込み:町教委生涯学習係 015-572-4411

開拓当時の道具や戦争中の軍服、鉄道の資料、池田町の遺跡の土器などを収蔵。見学には事前に申し込みが必要。

■開館時間:ふだんは公開していない(見学申込みは9:00~17:00の間で)■見学可能日:平日

■入館料:無料



ちやう る い

ぞう き ねん かん

### 忠類ナウマン象記念館

幕別町忠類白銀町383番地1 電話:01558-8-2826 (展示写真→p50・51・62)

昭和44年(1969)に忠類村(当時)で発見されたナウマンゾウの化石に関して、さまざまな角度から展示。

■開館時間:9:00~17:00■休館日:火曜日(祝日の時は翌日)・年末年始

■入館料:小中学生200円・一般300円(団体割引あり)



でん とう の う ぎやう ほ ぞん でん しやう かん み の いえ

### 伝統農業保存伝承館・美濃の家(土幌町)

土幌町字中土幌幹線86番地 電話:01564-7-4688

(美濃の家の写真→p166)

開拓時からの先人の農業や生活のようすを展示。体験も。「美濃の家」は美濃地方の様式の農家を移築・復元。

■開館時間:5月~10月 9:00~17:00・11月~4月 10:00~15:00■休館日:火曜日・年末年始■入館料:無料



とよ ころ ちやう

む かん きやう ど じやう ほう しつ

### 豊頃町える夢館 郷土情報室

豊頃町茂岩本町166番地(える夢館内) 電話:015-579-5801

開拓からの歴史や産業をテーマごとのパネルや映像などで紹介。昔の農機具などの文化財資料を更新しながら展示。

■開館時間:9:00~22:00■休館日:月曜日・祝日の翌日(土、日を除く)・年末年始

■入館料:無料



なか さつ ない むら まめ し りやう かん

てい

### 中札内村豆資料館「ビーンズ邸」

中札内村大通南7丁目14番地(道の駅なかさつない)

電話:0155-68-3390

架空の人物「豆畑拓男」氏の「家」で、豆について楽しく学べる。様々な豆のほか、豆に関わる道具や文書などを展示。

■開館時間:10:00~17:00■休館日:月曜日(4月~10月は無休)・年末年始■入館料:無料



たい せつ ほう ぶつ かん

### ひがし大雪博物館(上士幌町)

上士幌町字糠平 電話:01564-4-2323

大雪山国立公園を中心とした自然、地質、またアイヌ文化についても紹介している。国内外の昆虫コレクションも充実。

■開館時間:9:00~17:00(8月は6:00~17:00)■休館日:月曜日・11月~3月の祝日・年末年始

■入館料:小中学生100円・高校生150円・おとな300円(団体割引あり)



第1章 十勝の平野と川がでる町

第2章 先史時代と川

第3章 アイヌ文化と川

第4章 十勝開拓と川

第5章 発展、今、そして未来へ

用語

さへいん

ひだかさんみやくさんかく

**日高山脈山岳センター（中札内村）** 中札内村南札内(札内川園地内) 電話:0155-69-4378

日高山脈の動植物、山の生き立ちや地質に模型、クイズ形式の解説などの展示。宿泊所やレストランもある。

■開設期間:4月下旬~10月下旬(宿泊は6月~9月) ■開館時間:10:00~17:00(宿泊は17:00~翌10:00)

■休館日:期間中は無休 ■展示見学:無料(宿泊は有料で要申し込み)



ひろおちようかいようはくぶつかん きょうどぶんかほぞんでんしゅうかん  
**広尾町海洋博物館・郷土文化保存伝習館**

広尾町字野塚989番地 電話:01558-2-5572

海や海洋生物、また、広尾町の考古、歴史、民族などに関して展示。冬期間は閉めてあり事前に問い合わせが必要。

■開設期間:冬期間は事前に要問合せ(教育委員会 01558-2-0181) ■開館時間:9:00~16:00

■休館日:月曜日(祝日の時は翌日)・祝日の翌日・年末年始 ■入館料:小中学生150円・おとな300円(団体割引あり)



しりょうかん  
**ふるさと資料館（土幌町）**

土幌町字土幌幹線167番地(土幌町総合研修センター内) 電話:01564-5-4733

実物大模型や昔の道具などの展示により、過去、現在、そして未来へとつながる土幌町のあゆみを表現している。

■開館時間:9:00~17:00 ■休館日:火曜日・年末年始

■入館料:無料



ほんべつちようれきしみんなぞくしりょうかん  
**本別町歴史民俗資料館**

本別町北2丁目 電話:0156-22-2141(内410)

本別の歴史的資料を、林業、軍馬、先史、アイヌ民族、開拓、生活、商工業、などの視点から展示している。

■開館時間:平日 9:00~17:00 土曜日 9:00~15:00 ■休館日:日曜日・月曜日・祝日・年末年始

■入館料:無料(特別展示のみ有料)



まくべつちようえぞぶんかこうこかん  
**幕別町蝦夷文化考古館**

幕別町千住114番地の1 電話:0155-56-4899 (展示写真→p120・128・150・151)

白人コタン指導者の故吉田菊太郎氏が収集した、アイヌ民族の刀、弓矢、酒桶、着物、宝物、写真などを収蔵・展示。

■開館時間:10:00~16:00 ■休館日:火曜日(祝日の時は翌日)・年末年始 ■入館料:無料



まくべつちようかん  
**幕別町ふるさと館**

幕別町字依田384番地の3 電話:0155-56-3117 (展示写真→p115・172・217・247)

幕別の遺跡の石器や土器、開拓時代のようすの再現、昔の道具、幕別の自然、イトウ(淡水魚)などを展示している。

■開館時間:9:00~17:00 ■休館日:月曜日・火曜日・祝日の翌日・年末年始

■入館料:小中学生100円・おとな200円(団体割引あり)



めむろちようれきしかん  
**芽室町ふるさと歴史館ねんりん**

芽室町美生2線38番地15 電話:0155-61-5454

昔の生活用具、開拓・農耕用具をわかりやすく展示。芽室町の自然環境や先史時代、開拓の歴史なども紹介している。

■開館時間:9:00~15:00 ■休館日:火曜日・年末年始

■入館料:無料



とちがわ  
**十勝川インフォメーションセンター（帯広市）**

帯広市大通北2丁目 電話:0155-23-2160

生きた魚が泳ぐ「自然にやさしい工事」の模型水そうやパネル、クイズゲーム、ミニシアターなどによって十勝川を紹介。

2階には「川の駅」十勝川があり、川の情報や川での体験活動についてのアドバイスがもらえる。展望室もある。

■開館時間:9:00~17:00 ■休館日:月曜日・年末年始 ■入館料:無料



とちがわしりょうかん  
**十勝川資料館（池田町）**

池田町大通南1丁目 電話:015-572-5713

洪水のようすを再現できるパノラマ模型や3Dシアター、治水工法の模型、十勝川の生き物展示、川の生き立ちや歴史

についての写真や解説パネルなどで十勝川を紹介している。池田町の遺跡で発掘された土器や石器もある。

■開館時間:9:00~17:00 ■休館日:火曜日・年末年始 ■入館料:無料



第1章 十勝の平野と川がひろがる

第2章 先史時代と川

第3章 アイヌ文化と川

第4章 十勝開拓と川

第5章 発展、今、そして未来へ

用語

なごん

## 第1章 十勝の平野や川ができるまで

- 「5万分の1地質図幅『帯広』」松沢逸巳・松井愈・近堂祐弘・瀬川秀良・田中実・小久保公司、地質調査総合センター(旧地質調査所)、1981
- 「5万分の1地質図幅『上札内』」松下勝秀・小坂利幸・紺谷吉弘・宮坂省吾、北海道立地質研究所(旧北海道立地下資源調査所)、1979
- 「5万分の1地質図幅『大正』」小坂利幸・松井 愈・木村方一・紺谷吉弘・野川潔・春日井昭・近藤練三・藤山広武、地質調査総合センター(旧地質調査所)、1979
- 「5万分の1地質図幅『十勝池田』」松井 愈・山口昇一、地質調査総合センター(旧地質調査所)、2000
- 「NHKスペシャル地球大進化 46億年・人類への旅4 大量絶滅」NHK「地球大進化」プロジェクト、日本放送出版協会、2004
- 「足寄動物化石博物館(リーフレット)」足寄動物化石博物館
- 「厚別区の開拓と川とのかかわり(データCD)」(財)北海道開発協会
- 「帯広の自然とその生い立ち」帯広周辺コース・巡検案内書」北理研十勝支部地学部会・十勝の自然史研究会、2002
- 「帯広百年記念館郷土見学会資料 足寄動物化石博物館」藤山広武、帯広百年記念館、2005
- 「帯広百年記念館郷土見学会に配布した試作資料」足寄動物化石博物館、2005
- 「帯広百年記念館地質講座 案内書」藤山広武、帯広百年記念館、2005
- 「帯広百年記念館地質講座 案内書」藤山広武、帯広百年記念館、2006
- 「帯広百年記念館地質講座 案内書」藤山広武・小野昌子、帯広百年記念館、2006
- 「帯広百年記念館博物館講座『日高山脈の生い立ち』」小野昌子、帯広百年記念館、2006
- 「改訂増補 牧野 新日本植物図鑑」牧野富太郎、北隆館、1989
- 「カラーシリーズ・日本の自然 第9巻『列島の生い立ち』」大森昌衛 監修、藤田至則・糸野義夫 編著、平凡社、1988
- 「護岸の力学設計法」国土技術研究センター、山海堂、1999
- 「最新 図表地学」浜島書店編集部、浜島書店、1995
- 「清水町百年史」十勝清水町、2005
- 「縄文文化」勅使河原彰、新日本新書、1998
- 「新版 地学事典」及び「新版 地学事典付図付表」地学団体研究会 編、平凡社、1996
- 「新版 北海道樹木図鑑」佐藤孝夫、亜璃西社、2002
- 「新編火山灰アトラス 日本列島とその周辺」町田洋・新井房夫、東京大学出版会、2003
- 「森林総合研究所北海道支所 研究レポート No. 77 氷河期の生き残り:ヤチカンバ」永光輝義、森林総合研究所北海道支所、2004
- 「石油技術協会誌 第65号」2000
- 「雪花の刻音」八広地域開拓百年記念事業、2005
- 「象のきた道」亀井節夫、中央公論社、1978
- 「太古の北海道—化石博物館の楽しみ」木村方一、北海道新聞社、2003(第2版)
- 「第四紀の気候変動」増田耕一・阿部彩子 = 「気候変動論」住明正・山形俊男・安成哲三・増田耕一・阿部彩子・増田富士雄・余田成男、岩波書店、1996
- 「地形と地層の自然史・十勝平野の生い立ちを探る」藤山広武・角館正勝・川名淳二・平澤正勝・高倉裕一 編、未発表
- 「地質学雑誌 第112巻第11号」日本地質学会、2006
- 「地質学論集 第47号」日本地質学会、1997
- 「地団研専報22号 十勝平野」十勝団体研究会、地学団体研究会、1978
- 「忠類産ナウマンゾウの再検討」高橋啓一・北川博道・添田雄二 = 「日本古生物学会 講演要旨」2008
- 「道東の自然を歩く」道東の自然史研究会、北海道大学図書刊行会、1999
- 「道北の自然を歩く」道北地方地学懇話会、北海道大学図書刊行会、1995
- 「十勝川の川舟文化史 濤標」十勝川川舟文化史「濤標」編集委員会、十勝川川舟文化史「濤標」刊行会、2004
- 「十勝大百科事典」十勝大百科事典刊行会 編、北海道新聞社、1993
- 「十勝の自然を歩く(改訂版)」十勝の自然史研究会、北海道大学図書刊行会、2000
- 「十勝平野東部地域地質図及び説明書(附. 露頭・ボーリング柱状図集、十勝平野中央部地域補遺その2)」北海道立地質研究所 岡孝夫 編集・執筆、北海道立地質研究所 監修、十勝支庁農業振興部、2003
- 「十勝平野、地質図および地形面区分図」十勝平野 地質図および地形面区分図編集委員会、地学団体研究会、1981
- 「日本の気候」中村和郎・木村竜治・内嶋喜兵衛、岩波書店、1996
- 「日本の気候環境」小川肇 = 「考古学と年代測定学・地球科学」松浦秀治・藁科哲男・上杉陽 編集、同成社、1999
- 「日本の地形2 北海道」小嶋尚・野上道男・小野有五・平川一臣、東京大学出版会、2003
- 「北海道創世記」松井愈・吉崎昌一・埴原和郎 編、北海道新聞社、1984
- 「北海道地名分類字典」本多貢、北海道新聞社、1999
- 「北海道の石」戸狩賢二・土屋篁、北海道大学図書刊行会、2000
- 「北海道の自然史—氷期の森林を旅する—」小野有五・五十嵐八枝子、北海道大学図書刊行会、1991
- 「モンゴロイドの地球3 日本人のなりたち」百々幸雄 編、東京大学出版会、1995

Dansgaard, W., S. J. Johnsen, H. B. Clausen, D. Dahl-Jensen, N. S. Grundestrup, C. U. Hammer, C. S. Hvidberg, J. P. Steffensen, A. E. Sveinbjornsdottir, J. Jouzel, and G. Bond (1993) Evidence for general instability of past climate from a 250-kyr ice-core record. *Nature*, 364, 218-220.

Kimura, G. (1994) The latest Cretaceous - early Paleogene rapid growth of accretionary complex and exhumation of high pressure series metamorphic rocks in northwestern Pacific margin. *Jour. Geophys. Res.*, 99, 22, 147 - 164.

第1章 十勝の平野や川ができるまで

第2章 先史時代と川

第3章 アイヌ文化と川

第4章 十勝開拓と川

第5章 発展、今、そして未来へ

用語

さくいん

多田隆治 (1997) : ダンスガード・サイクル. 科学, 67, 597-605.  
宮下純夫・新井孝志・長橋徹 (1997) : 日高帯の緑色岩の意義: 海嶺の多重衝突. 地質学論集, 47.

「2003年9月26日十勝沖地震の評価のページ」地震調査研究推進本部 地震調査委員会 [http://www.jishin.go.jp/main/chousa/03sep\\_tokachi/index.htm](http://www.jishin.go.jp/main/chousa/03sep_tokachi/index.htm)  
「足寄動物化石博物館のホームページ」 <http://www.museum.ashoro.hokkaido.jp/>  
「火砕流と噴火現象のページ」土木学会火山工学研究小委員会 <http://www.geo.chs.nihon-u.ac.jp/tchiba/civil/tsukiau/funkagensyo/funkagensyo.html>  
「北広島の大規模斜交層理のページ」北広島市 [http://www.city.kitahiroshima.hokkaido.jp/new/c\\_koumin/c\\_koumin.htm](http://www.city.kitahiroshima.hokkaido.jp/new/c_koumin/c_koumin.htm)  
「岐阜の地学・よもやま話のページ」小井土 由光 <http://chigaku.ed.gifu-u.ac.jp/chigakuhp/html/kyo/chisitsu/gifunochigaku/main.html>  
「こんには ナキウサギですのページ」鳴兎(めいと)の会 <http://www.netbeet.ne.jp/~nakajima/>  
「森林総合研究所北海道支所研究レポートNo.77 氷河期の生き残り: ヤチカンバ のページ」永光輝義  
<http://www.fipri-hkd.affrc.go.jp/koho/rp/rp77/report77.htm>  
「大樹町営牧場の紹介のページ」大樹町役場 <http://www.town.taiki.hokkaido.jp/pages/nougyou/index.html>  
「地質図のホームページ」産業技術総合研究所 地質調査総合センター <http://www.gsj.jp/geomap/>  
「忠類ナウマン象記念館友の会のページ」 <http://www.art-stage.jp/churui-nauman/>  
「十勝川温泉の歴史とモール泉の由来のページ」十勝ネイチャーセンター <http://www.nature-tokachi.co.jp/tokachigawa-spa.htm>  
「独立行政法人 産業技術総合研究所 地質調査研究センターのページ」 <http://www.gsj.jp/HomePageJP.html>  
「ナウマンゾウってなに? のページ」地質標本館 <http://www.gsj.jp/Muse/Palaeoloxodon/naumanni.html>  
「新井田清信のホームページ」新井田清信 <http://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~kiyo/index.html>  
「バーチャルナウマンゾウ記念館へようこそ」忠類村 <http://www.vill.churui.hokkaido.jp/vt.html>  
「日高山脈館のページ」 <http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/hmc/>  
「氷河・氷床の用語集のページ」(社)日本雪氷学会北海道支部 <http://www.seppyo.org/~hokkaido/nomen/nomen-c.html>  
「富戸の波・私の貝は左利きのページ」 <http://homepage2.nifty.com/ALABAMA/topics/Topics-250/T-218-watashinokaiha-A.htm>  
「北海道遺産物語のページ」北海道遺産構想推進協議会 <http://www.hokkaidoisan.org/heritage/033.html>  
「北海道の活火山のページ」札幌管区気象台 火山監視・情報センター <http://www.seisvol.kishou.go.jp/sapporo/volcanosp.html>  
「水と土(1)黒ボク土 人が作った土?」国立環境研究所 <http://www.nies.go.jp/osirase/koramu/051012.html>  
「りかちゃんのサブノート 火山と火成岩のページ」りる <http://www.max.hi-ho.ne.jp/lylle/kaseigan1.html>  
「化石からわかること②のページ」独立行政法人 産業技術総合研究所 地質調査研究センター  
[http://www.gsj.jp/GDB/openfile/files/no0427/pl\\_9.pdf#search=%22E3%82%BF%E3%82%AB%E3%83%8F%E3%82%B7%E3%83%9B%E3%82%BF%E3%83%86%20%E7%B5%B6%E6%BB%85%22](http://www.gsj.jp/GDB/openfile/files/no0427/pl_9.pdf#search=%22E3%82%BF%E3%82%AB%E3%83%8F%E3%82%B7%E3%83%9B%E3%82%BF%E3%83%86%20%E7%B5%B6%E6%BB%85%22)

## 第2章 十勝の先史時代と川

「アイヌの歴史と文化 I」榎森進 編、創童社、2003  
「アイヌの歴史と文化 II」榎森進 編、創童社、2004  
「新しい社会 歴史」田邊裕ほか、東京書籍、2005  
「池田町の先史文化 池田3遺跡 埋蔵文化財報告Ⅲ」横山英介編著、池田町教育委員会、1993  
「石狩紅葉山49号遺跡発掘調査報告書 伏籠川総合治水対策特定河川事業に伴う埋蔵文化財発掘調査 第3分冊写真図版編」石狩市教育委員会、2005  
「帯広市開拓120年記念事業 120年より前の帯広 パンフレット」帯広百年記念館、2002  
「帯広市史(平成15年編)」帯広市史編纂委員会、帯広市、2003  
「帯広市埋蔵文化財調査報告 第1冊 帯広・暁遺跡」帯広市教育委員会、1985  
「帯広市埋蔵文化財調査報告 第15冊 帯広・稲田1遺跡」帯広市教育委員会、1997  
「帯広市埋蔵文化財調査報告 第16冊 帯広・川西C遺跡」帯広市教育委員会、帯広百年記念館友の会、1998  
「帯広市埋蔵文化財調査報告 第24冊 帯広・若葉の森遺跡」帯広市教育委員会、2004  
「帯広百年記念館博物館講座」山原敏朗、2006  
「気候と文明の盛衰」安田喜憲、朝倉書店、1990  
「気候変動」安田喜憲=「縄文文化の研究1」加藤晋平・小林達夫・藤本強編、雄山閣出版、1982  
「北日本の考古学 南と北の地域性」日本考古学協会編、吉川弘文館、1994  
「古代環日本海交通と滯足柵」武田佐知子 =「律令制国家と古代社会」吉村武彦編、塙書房、2005  
「縄文人になる！」関根秀樹、山と溪谷社、2002  
「縄文土器を作る」帯広・原始人の会、帯広百年記念館友の会  
「縄文文化」勅使河原彰、新日本新書、1998  
「新版 地学事典」及び「新版 地学事典付図付表」地学団体研究会 編、平凡社、1996  
「新北海道史年表」北海道 編、北海道出版企画センター、1989  
「新 北海道の古代 1 旧石器・縄文文化」野村崇・宇田川洋 編、北海道新聞社、2001  
「新 北海道の古代 2 続縄文・オホーツク文化」野村崇・宇田川洋 編、北海道新聞社、2003  
「新 北海道の古代 3 擦文・アイヌ文化」野村崇・宇田川洋 編、北海道新聞社、2004  
「雪花の刻音」八広地域開拓百年記念事業、2005

「十勝川の川舟文化史 濤標」十勝川川舟文化史「濤標」編集委員会、十勝川川舟文化史「濤標」刊行会、2004  
 「十勝大百科事典」十勝大百科事典刊行会 編、北海道新聞社、1993  
 「十勝二万年史」十勝川流域史研究会、1985  
 「十勝の黒曜石」古谷昭彦、ひがし大雪博物館、2004  
 「十勝の自然を歩く(改訂版)」十勝の自然史研究会、北海道大学図書刊行会、2000  
 「日本の歴史 第01巻 縄文の生活誌 改訂版」岡村道雄、講談社、2002  
 「日本歴史地名大系1 北海道の地名」平凡社、2003  
 「北海道の自然史—氷期の森林を旅する—」小野有五・五十嵐八枝子、北海道大学図書刊行会、1991  
 「まんがでたどる NHK日本人はるかな旅」馬場悠男・木村英明・小田静夫 監修、NHKスペシャル「日本人」プロジェクト 編、笠原秀 シナリオ、七瀬カイ・安土 じょう・さかいひろこ 作画、日本放送出版協会、2001  
 「モンゴロイドの地球3 日本人のなりたち」百々幸雄 編、東京大学出版会、1995  
 「山溪カラー名鑑 日本の淡水魚」川那部浩哉・水野信彦 編・監修、山と溪谷社、1995

「Stone knife のページ」前田幸治 <http://www14.plala.or.jp/stoneknife/index.html>  
 「大昔、北海道に象がいたのページ」北海道開拓記念館 <http://www.hmh.pref.hokkaido.jp/jishin-tsunami-soeda/naumanzou.htm>  
 「小川雅弘 Web Site」小川雅弘 <http://ogawa-wakuwaku.net/taiken/index.htm>  
 「研究室の窓・ブログ」north-archaeo <http://northarch.exblog.jp/1991596/>  
 「古代吉備を探るII 連載第2回 石は物語るのページ」岡山県古代吉備文化財センター 小嶋善邦 <http://www.pref.okayama.jp/kyoiku/kodai/saguru2-2.htm>  
 「土岐市美濃焼伝統産業会館のページ」 <http://www.minoyaki.gr.jp/minoyaki2/densan/anagama.html>  
 「特別史跡 三内丸山遺跡・重要文化財写真集のページ」縄文時遊館 <http://sannaimaruyama.pref.aomori.jp/photo/index.html>  
 「西積丹縄文ワールドのページ」北海道電力(株)原子力PRセンター「とまりん館」 <http://www.hepco.co.jp/jomon/jomon/bunka/index.html>  
 「日本人はるかな旅展のページ」国立科学博物館 <http://www.kahaku.go.jp/special/past/japanese/ipix/2/2-15.html> <http://www.kahaku.go.jp/special/past/japanese/ipix/2/2-09.html>  
 「本物志向の縄文土器をつくろう(財)石川県埋蔵文化財センター [http://www.ishikawa-maibun.or.jp/taiken/jomondoki/jomondoki\\_taiken.htm](http://www.ishikawa-maibun.or.jp/taiken/jomondoki/jomondoki_taiken.htm)  
 「燃える男の土器の作り方のページ」園田(岩宿博物館友の会会員) <http://homepage2.nifty.com/sonodaworld/makesearthenvessel1.htm>  
 「紅葉山49号遺跡/2002のページ」石狩市 [http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/kakubu/kyoiku/49iseki/index\\_m49.htm](http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/kakubu/kyoiku/49iseki/index_m49.htm)

### 第3章 十勝のアイヌ文化と川

「1643年アイヌ社会探訪記」北構保男、雄山閣出版、1983  
 「アイヌ語沙流方言辞典」田村すず子、草風館、1996  
 「アイヌ語で自然かんさつ図鑑」帯広百年記念館 編、内田祐一・池田亨嘉、帯広百年記念館友の会、2004  
 「アイヌ植物誌」福岡い子・佐藤寿子、草風館、1995  
 「アイヌの歴史と文化 I」榎森進 編、創童社、2003  
 「アイヌの歴史と文化 II」榎森進 編、創童社、2004  
 「アイヌ民族のトカプチミュージアム 地域イオル構想」『伝統的生活空間の再生』十勝圏誘致促進期成会、2005  
 「足寄町史」足寄町町史編纂臨時専門委員会、足寄町役場  
 「足寄町百年史 上巻」足寄町史編さん委員会、足寄町、2007  
 「帯広市開拓120年記念事業 120年より前の帯広 パンフレット」帯広百年記念館、2002  
 「帯広市史(平成15年編)」帯広市史編纂委員会、帯広市、2005  
 「帯広市社会教育叢書1 愛郷誌料」吉田巖、帯広市教育委員会教育係、帯広市教育委員会、1955  
 「帯広土木現業所・出張所管内河川図索引図」帯広土木現業所  
 「帯広百年記念館 博物館講座 晩成社とアイヌの人びと」帯広百年記念館、2006  
 「改訂増補 アイヌ伝承と砦(チャシ) 北方新書007」宇田川洋、北海道出版企画センター、2005  
 「北日本の考古学 南と北の地域性」日本考古学協会編、吉川弘文館、1994  
 「北の生活文庫 第2巻 北海道の自然と暮らし」北の生活文庫企画編集会議、関秀志・矢島睿・古原敏弘・出利葉浩司、北海道新聞社、1997  
 「史跡ユクエビラチャシ跡 平成14~16年度発掘調査報告書」陸別町教育委員会、2007  
 「新 北海道の古代 2 続縄文・オホーツク文化」野村崇・宇田川洋 編、北海道新聞社、2003  
 「新 北海道の古代 3 擦文・アイヌ文化」野村崇・宇田川洋 編、北海道新聞社、2004  
 「全国の伝承 江戸時代 人づくり風土記 聞き書きによる知恵シリーズ(1) ふるさとの人と知恵 北海道」組本社 企画・編集、農山漁村文化協会、1991  
 「杖のみたま — 十勝アイヌ故老談話記録」吉田巖 = 「民族学研究19巻 3・4号」日本民族学協会、誠文堂新光社、1956  
 「十勝川の川舟文化史 濤標」十勝川川舟文化史「濤標」編集委員会、十勝川川舟文化史「濤標」刊行会、2004  
 「十勝国産業写真帳」北海道庁河支庁、1911  
 「十勝大百科事典」十勝大百科事典刊行会 編、北海道新聞社、1993  
 「十勝二万年史」十勝川流域史研究会、1985  
 「トカプチ 十勝アイヌ語地名」帯広二建会創立50周年編集委員会、2005

第1章 十勝の平野や川がでるまで

第2章 先史時代と川

第3章 アイヌ文化と川

第4章 十勝開拓と川

第5章 発展、今、そして未来へ

用語

さくいん

「パイェアン ロ ふれてみようアイヌの文化」(財)アイヌ文化振興・研究機構、2005  
 「戊午東西蝦夷山川地理取調日誌 上・下」松浦武四郎、秋葉実 解説、北海道出版企画センター、1985  
 「北海道現存植生図(日本植生誌-北海道)」宮脇昭・奥田重俊、国土地図、至文堂、1988  
 「北海道潜在自然植生図(日本植生誌-北海道)」宮脇昭・藤原一絵・中村幸人・大野啓一・村上雄秀・鈴木伸一、国土地図、至文堂、1988  
 「北海道場所請負制度の研究」白山友正、慶友社、1971  
 「ポン カンピソシ 3 イペ 食べる」北海道立アイヌ民族文化研究センター、1998  
 「古代環日本海交通と淳足柵」武田佐知子 = 「律令制国家と古代社会」吉村武彦編、埴書房、2005

「帯広百年記念館 アイヌ民族文化情報センターリウカのページ」 <http://www.museum-obihiro.jp/index.shtml>  
 「釧路正教会百年の歩みのページ」釧路ハリストス正教会 <http://www.orthodox-jp.com/kushiro/history.htm>  
 「釧路昔むかし 江戸時代の釧路のページ」釧路市史編さん事務局協力、ホソカインネット <http://www.hokkai.or.jp/history/kusiro-mukasi/index.html>  
 「五所川原市の文化・史跡案内のページ」五所川原市商工観光課 [http://www.goshogawara.net.pref.aomori.jp/16\\_kanko/bunka.html](http://www.goshogawara.net.pref.aomori.jp/16_kanko/bunka.html)  
 「伝統の丸木舟完成『WEEKLY NEWS(1994年4月4日)』のページ」十勝毎日新聞社 [http://www.tokachi.co.jp/kachi/9904/04\\_04.htm](http://www.tokachi.co.jp/kachi/9904/04_04.htm)

## 第4章 十勝開拓と川

「20世紀全記録 Chronik 1900-1990」講談社、1991  
 「アイヌの歴史と文化 I」榎森進 編、創童社、2003  
 「安政2年杉浦嘉七のトカチ場所絵図」井上寿 = 「トカッチー十勝郷土研究 5」山内隆一 編、静窓書房、1991  
 「池田町開拓夜話」池田町企画振興課・池田町史編纂室、池田町、1993  
 「池田町史 上巻」池田町史編集委員会、北海道池田町、1988  
 「池田町懐かしのアルバム 写真で綴る池田町史」池田町企画振興課 池田町史編纂室、池田町長石井明、1992  
 「浦幌町百年史」浦幌町百年史編さん委員会、浦幌町役場、1999  
 「エソテリカ事典シリーズ2 日本の神々の事典 神道祭祀と八百万の神々」日本アートセンター 編集制作、学習研究社、1997  
 「帯広市史(平成15年編)」帯広市史編纂委員会、帯広市、2005  
 「帯広しんきん 十勝人心の旅 4 海 大樹・浦幌・豊頃・広尾」千葉章仁・戸張良彦他、内山敏文 編集、帯広信用金庫、2007  
 「帯広百年記念館展示資料」帯広百年記念館  
 「記録 本別空襲」本別町図書館、1983  
 「鹿追町七十年史」鹿追町史編さん委員会、鹿追町役場、1994  
 「市民大学講座 平成17年度 第21集 地域学講座 十勝を開拓した移民のふるさと 講義資料」作間勝彦、帯広市教育委員会、2006  
 「新得町百年史」新得町百年史編さん委員会、新得町役場、2000  
 「新北海道史年表」北海道 編、北海道出版企画センター、1989  
 「第4編 池田町の農業 II 池田農場史」池田町史編集委員会、北海道池田町、1974  
 「十勝・釧路地方の鮭鱒ふ化事業史」秋葉鉄之、北海道さけ・ますふ化放流事業百年史編さん委員会、1985  
 「十勝川 写真で綴る変遷」『十勝川 写真で綴る変遷』企画編集委員会、(財)河川環境管理財団、1993  
 「十勝川の川舟文化史 濤標」十勝川川舟文化史「濤標」編集委員会、十勝川川舟文化史「濤標」刊行会、2004  
 「十勝国産業写真帖」北海道庁、1911

「十勝自営会創立100周年 十勝の監獄」磯谷悠三、十勝毎日新聞社、1882  
 「十勝大百科事典」十勝大百科事典刊行会 編、北海道新聞社、1993  
 「十勝二万年史」十勝川流域史研究会、1985  
 「十勝毎日新聞 2006.10.24」十勝毎日新聞社、2006  
 「トカッチ16号 郷土史研究」『トカッチ』編集部、NPO十勝文化会議郷土史研究部会、2004  
 「トカプチ 十勝アイヌ語地名」帯広二建会創立50周年編集委員会、2005  
 「豊頃町史」豊頃町史編さん委員会、豊頃町役場、1971  
 「豊頃よもやま話作品集 あかだも」豊頃町豊寿大学文学科、豊頃町、1991  
 「中札内村史」中札内村史編纂委員会、中札内村役場、1968

「西帯広郷土史」西帯広郷土史編集委員会、1980  
 「値段の 明治大正昭和 風俗史 上・下」週刊朝日、朝日新聞社、1987  
 「北海道山林史」北海道、1953

「北海道場所請負制度の研究」白山友正、慶友社、1971  
 「本別町史」本別町史編さん委員会、本別町役場、1977  
 「幕別町百年史」幕別町、1996

「芽室町八十年史」芽室町役場、1982

「茂岩・池田河川事業所史 十勝川下流のあゆみ」北海道開発局帯広開発建設部池田河川事務所 監修、『十勝川下流のあゆみ』編集アドバイザー会議 編集、(財)北海道開発協会、2003

「矢部の生い立ち」矢部開拓百年記念誌編纂委員会、矢部開拓百年記念実行委員会、1996

「山溪カラー名鑑 日本の淡水魚」川那部浩哉・水野信彦 編・監修、山と溪谷社、1995



「陸別町史 史料編」陸別町役場広報聴町史編さん室、陸別町、1991

## 第5章 発展、今、そして未来へ

- 「アイヌ語で自然かんさつ図鑑」帯広百年記念館 編、内田祐一・池田亨嘉、帯広百年記念館友の会、2004
- 「アイヌ植物誌」福岡イ子・佐藤寿子、草風館、1995
- 「改訂・日本の絶めつのおそれのある野生生物 - レッドデータブック - 1～9」環境省自然環境局野生生物課、(財)自然環境研究センター、2000～2006
- 「漁業生物図鑑 北のさかなたち」長沢和也・鳥澤雅 編、北海道立水産試験場研究員 著、北日本海洋センター、1991
- 「サケ・HTBまめ本60」木村義一 著、北海道テレビ放送、1998
- 「調べる・身近な水(ブルーボックスB-696)」小倉紀雄、講談社、1987
- 「鳥獣保護ネットワークニュース 北海道に分布するザリガニ類の現状と将来」川合唯史、環境省北海道地方環境事務所野生生物課、2006
- 「十勝川 写真で綴る変遷」『十勝川 写真で綴る変遷』企画編集委員会、(財)河川環境管理財団、1993
- 「十勝大百科事典」十勝大百科事典刊行会 編、北海道新聞社、1993
- 「十勝川の川舟文化史 滯標」十勝川川舟文化史「滯標」編集委員会、十勝川川舟文化史「滯標」刊行会、2004
- 「都市河川における水環境の整備・再生・保全と水質浄化技術」石塚昌志 = 「河川・湖沼・水辺の水質浄化、生態系保全と景観設計」船山富晴・稲垣徹 編、研修社・工業技術会、1993
- 「豊頃よもやま話作品集 あかだも」豊頃町豊寿大学文学科、豊頃町、1991
- 「平成16年度アカデミー政策研究 健全な水循環の再生・創出に向けて - 森・土・川・海の『健全な水循環』ネットワークづくり-」北海道自治政策研修センター政策研究室、2005
- 「水と水質環境の基礎知識」武田育郎、オーム社、2001
- 「茂岩・池田河川事業所史 十勝川下流のあゆみ」北海道開発局帯広開発建設部池田河川事務所 監修、『十勝川下流のあゆみ』編纂アドバイザー会議 編集、(財)北海道開発協会、2003
- 「森、里、川、海をつなぐ自然再生」自然再生を推進する市民団体連絡会、中央法規出版株式会社、2005
- 「ヤナギ類 その見分け方と使い方」斎藤新一郎、北海道治山協会、2001
- 「山溪カラー名鑑 日本の淡水魚」川那部浩哉・水野信彦 編・監修、山と溪谷社、1995(2版)
- 「吉屋信子文学碑建立記念誌」池田町文学碑建設期成会、1980
- 「Eボートオフィシャルサイトのページ」NPO法人地域交流センター <http://www.jrec.or.jp/e-boat/>
- 「FISHING PARK 釣り用語集のページ」株式会社アーガス企画 [http://www.fishingpark.ne.jp/yogo/yogo\\_n.htm](http://www.fishingpark.ne.jp/yogo/yogo_n.htm)
- 「ウチダザリガニのページ」北海道 [http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/alien/zarigani/zarigani\\_top](http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/alien/zarigani/zarigani_top)
- 「河川の防災のページ」北海道開発局帯広開発建設部 <http://www.ob.hkd.mlit.go.jp/hp/bousai/kasen.htm>
- 「子どもの水辺サポートセンターのページ」(財)河川環境管理財団 <http://www.mizube-support-center.org/outline/mizube.html>
- 「社団法人 北海道さけ・ます増殖事業協会のページ」 <http://www.sake-masu.or.jp/>
- 「独立行政法人 水産総合研究センター さけますセンターのページ」 <http://salmon.fra.affrc.go.jp/>
- 「北海道エールセンターのページ」 <http://www.hokkaidou-yell-center.jp/>
- 「ようこそ郡上八幡へのページ」郡上八幡観光協会 <http://www.gujohachiman.com/kanko/>

## 全体を通して

- 「広辞苑 第三版」新村出 編、岩波書店、1983
- 「大辞林 第二版」松村明 編、三省堂、1995
- 「フリー百科事典『ウィキペディア』のページ」 <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A1%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%83%9A%E3%83%BC%E3%82%B8>

なお、「用語解説(p258～)」では、p253～p257の資料を参考にしています。



第1章 十勝の平野や川がでまわすまで

第2章 先史時代と川

第3章 アイヌ文化と川

第4章 十勝開拓と川

第5章 発展、今、そして未来へ

用語

さくいん

アルファベット

K T境界(ケイティーきょうかい) : 恐竜(きょうりゅう)やアンモナイトなどが生きていた中生代(ちゅうせいだい)とそれらが絶滅した新生代(しんせいだい)の境のこと。約6,500万年前。

K T境界層(ケイティーきょうかいそう) : K T境界を示す地層のこと。日本では浦幌町川流布(かわるっぶ)にだけ見ついている。( p25)

U字谷(ユーじこく) : 横断面がU字形の谷。氷河が流れる時にできる谷は多くがU字谷になる。 V字谷(ブイじこく)

V字谷(ブイじこく) : 横断面がV字形の谷底がせまい谷。速い流れが川底を下へけずってできる。 U字谷(ユーじこく)

あ

アイヌ(アイヌ語) : 「アイヌ」ということばには、(神や動物に対しての)人間という意味、(メノコ〔女性〕に対しての)男性という意味、(民族名としての)アイヌという意味がある。(参考 : 『アイヌ語沙流方言辞典』より)

アイヌ文化振興法(アイヌぶんかしんこうほう) : アイヌの人々の民族としての誇り(ほこり)が尊重される社会を実現しようとするための法律。正式には「アイヌ文化の振興(しんこう)並びにアイヌの伝統(でんとう)等に関する知識の普及(ふきゅう)及び(および)啓発(けいはつ)に関する法律」という。( p150)

アイヌモシリ(アイヌ語) : アイヌ(人間)の国。これに対して、カムイ(神)が生活する世界のことをカムイモシリ(神の国)という。自然の生き物や自然現象などは、カムイモシリからカムイが何かの目的をもってアイヌモシリにやってきたもの、もしくはやってきたことによって起きたことである。

亜炭(あたん) : 水底にたまったかれ草やかれ木があまり分解されず(くさらず)土にかえられないままたまり、だんだんと炭になっていったもの。泥炭(でいたん)が地熱や圧力で、さらに炭になっていった(炭化した)もの。広い意味の石炭に入り、石炭としては質が悪い(炭化度が低い)もの。亜炭というのは日本独自の呼び名で、正式には「褐炭(かつたん)」という。また、褐炭のうち質が悪いものを亜炭ということもある。( p41)

い

イオマンテ(アイヌ語) : 山で子グマをつかまえたとき、コタン(集落)に連れ帰り1年ほど大切に育てる。その後、子グマの霊(れい : カムイ)におみやげをもたせて、クマのカムイの親元(カムイの国〔カムイモシリ〕)に帰して(送って)あげるという儀式(ぎしき)。クマのほかにはシマフクロウなどでもおこなわれる。自然のめぐみへの感謝と、これからもめぐみがあるようにとの願いがこめられる。

イオル(アイヌ語) : 伝統的なアイヌ文化で、あるコタン(集落)や個人が漁や植物採集、狩り(かり)などのために利用する、川や山野の範囲(はんい)のこと。

イクパスイ : 木で作ったヘラのようなもので、カムイにいのり、語りかける時に手に持つ。イナウとともにカムイへことばを伝えてくれる。( p134)

遺跡(いせき) : 昔の人々の生活のあと、昔つくられたものや建

物のあと、あるいはほられた穴のあとなどが集まり、広がりをもって残されているところ。地表のものはこわされたり、風化したりしてなくなりやすいため、土などにおおわれて地中になったところに残されることが多い。遺跡で見つかったもののうち、石器や土器など移動させることのできるものを遺物(いぶつ)といい、家のあとや墓穴のあとなど移動させることができないものを遺構(いこう)という。( p70)

遺存種(いぞんしゅ) : 過去に栄え、その後はおとろえている生物のこと。北海道のナキウサギなどは氷期の遺存種である。個体数が減ったもの、分布がせまくなったものも遺存種である。レリックまたは生きている化石ともいう。( p63)

一級町村(いっきゅうちょうそん) : 町村会の議員が住民によって選ばれ、町村長を町村会の選挙で選ぶことのできる町や村。

イナウ(アイヌ語) : 木の棒をけずって作った祭祀具(さいしぐ)。カムイ(神)にささげ、カムイに語りかける時にはイクパスイとともにことばの仲立ちをする。また、イナウ自体がカムイへのおみやげであり、家の中にかざっているイナウが多いカムイほど、人間からたよりにされていることになる。( p134・p122・p128)

イバキッニ(アイヌ語) : サケの頭をたたいて殺す道具。ただの道具ではなく、カムイにことばを伝え、カムイへのおみやげとなる「イナウ」のひとつとされた。( p122)

う

ウライ(アイヌ語) : 小川で魚をとるしかけ。川に立てた数本のくいにヤナギの枝をからませることで魚の行き場をさえぎり、魚がラオマツという「どう」の中に入りこむようにしたもの。( p119)

え

駅通所(えきていしょ・えきていじょ) : 北海道の開拓時代(かいたくじだい)、開拓者や商人、旅行者などの宿泊所であり、人や馬の貸し出しをしたところ。駅通所制度は昭和21年(1946)まで続いた。( p163)

エコロジー(Ecology : 英語) : もともとは「生態学(せいたいがく)」とあって、生き物のことを生き物同士のつながりや、周りの環境(かんきょう)とのつながりによって研究する学問のこと。今では自然環境に関すること、ゴミ・公害・健康問題など人間が暮らす環境のこと、また、それらのことを考えること、さらに、考えた結果の暮らし方、ものの見方や工夫(くふう)、つくり出されたものなども指す。

エゾ(蝦夷) : いろいろな説があるが、平安時代(へいあんじだい)の末以降、「エミシ」と読んでいた「蝦夷」を「エゾ」と読むようになり、地名としては北海道を指し、人間の集団としてはアイヌ民族を指すようになったともいう。江戸時代(えどじだい)には、道南にあった松前藩(まつまえはん)の直接支配地を「和人地(わじんち)」と呼び、それ以外の北海道の大部分をアイヌ民族の土地として「蝦夷地(えぞち)」と呼んだ。

エミシ(蝦夷) : いろいろな説があるが、古代日本で大和朝廷(やまとちやうてい)が支配を広げる中、東北地方以北で大和朝廷に従っていなかった人々に対する、大和からの呼び名ともいわれる。アイヌ民族(の祖先)もふくまれる。鎌倉時代(かまくらじだい)のころから「蝦夷」をエゾと読むようになり、北海

第1章 十勝の平野や川ができるまで

第2章 先史時代と川

第3章 アイヌ文化と川

第4章 十勝開拓と川

第5章 発展と今そして未来へ

用語 さくいん

道とアイヌ民族（の祖先）を指すようになったともいわれる。  
えん堤（えんてい・堰堤）：川の水や土砂（どしゃ）をせきとめるために、川の流れを横断してつくられた構築物のこと。（ p194）

## か

カール（Kar・ドイツ語）：氷河となる氷ができた、山頂近くにある半円形の谷地形のこと。圏谷（けんこく）ともいう。

櫂（かい）：水をかいて舟（ふね）や船を進める道具。

海溝（かいこう）：海底が細長くみぞのようになっているところで、深さ6kmより深いものをいう（浅いものはトラフ）。北海道の東南部には千島海溝（ちしまかいこう）があり、本州の東部には日本海溝がある。マリアナ海溝の最深部は1万m以上の深さがある。プレートがほかのプレートの下にすくみこむところ。（ p23）

海進（かいしん）：地球が温暖になると、氷河（ひょうが）や氷床（ひょうしょう）など陸上にある氷がとけて、その水が海に流れこむ。すると海水が増え、海水面が高くなり、そのため陸地がせまくなる。海が内陸に進んでくることになるので、これを海進という。約6千年前（縄文時代〔じょうもんじだい〕前期）には氷期のあと最も暖かい気候となり、この時の海進を縄文海進（じょうもんかいしん）という。（ p84） 海退（かいたい）

海成層（かいせいそう）：海の底にたまったものでできた地層。長い間に地面がもり上がることで、今では丘（おか）や山になっていることもよくある。（ p33）

海退（かいたい）：地球が寒冷になると、地上に降った水分がこもりついて海に流れこむ水の量が減る。これによって海水面が低くなり、陸地が広がる。海岸線が海側へ後退するので、これを海退という。最近の氷期（約8万～1万年前）の時には、北海道はサハリンと、サハリンは大陸と陸続きになったため、北海道は大陸からのびる半島の先だった。（ p62） 海進（かいしん）

開拓（かいたく）：山野を切り開いて、田畑にすること。

開拓使（かいたくし）：北海道など北方の開拓のため、明治2年（1869）から明治15年（1882）まで置かれた役所。

開発（かいはつ）：土地や資源などを、暮らしや産業のある目的に合わせて利用しやすくすること。

外来種（がいらいしゅ）：おもに人間の活動によって持ちこまれた、もともとその地域にいなかった生き物。 在来種（ざいらいしゅ）

海嶺（かいらい）：海底山脈のこと。プレートが生まれ、分かれていくところで、地下からマグマがのぼってくる。（ p23）

鍵層（かぎそう）：広い範囲（はんい）にあり、ほかの地層と見分けが付きやすく、どちらかという短い期間でたまったため、はなれた場所にある地層の新旧を判断する基準となる地層のこと。火山灰（かざんばい）の地層は、鍵層によく使われる。（ p21）

火口（かこう）：火山活動によって、地下のマグマや火山ガスがふき出す場所。または、かつてマグマなどがふき出したことによってできた円形に近いくぼみ。多くの場合、直径約1km以下。

火砕流（かさいりゅう）：火山が爆発的（ばくはつてき）に噴火（ふんか）した時などに、くだけ散ったマグマ（火山灰や火山れき）が高温のガスと一体になって、重力によって流れ下るもの。数百 ととても熱く、時速数十km（100kmをこえる時）も）ととても速いので、おそわれたらまず助からないというおそろしい火山の活動。（ p336）

火山（かざん）：地下深くにあったマグマや火山ガスがふき出すところ。ふつうは地形的な高まりをいうが、爆発（ばくはつ）や陥没（かんぼつ：落ちくぼむこと）によってできた地形もふくめる。水中にもある。

火山岩（かざんがん）：火成岩（かせいがん）の中で、マグマが急に冷やされてできた岩石。多くが火山からふき出してできる。溶岩（ようがん）や凝灰岩（ぎょうかいがん）など。

火山灰（かざんばい）：火山からふき出したもので、マグマが粉々にくだけたもの。木や紙などが燃えてできる灰とはまったく異なる。地質学では直径2mm～1/64mmまでのものをいう（2～64mmのものは「火山れき」、64mm以上のものは「火山岩かい」）。また、工事や園芸などで利用するために凝灰岩（ぎょうかいがん）をけずり取ったものも、火山灰と呼ばれる。

火山れき（かざんれき・火山礫）：火山からふき出したマグマがくだけたもので、直径2～64mmのもの。2mm以下は「火山灰」、64mm以上は「火山岩かい」。

火成岩（かせいがん）：マグマが固まることでできた岩石。火山岩（かざんがん）と深成岩（しんせいがん）などに分かれる。ほかの岩石としては堆積岩（たいせきがん）と変成岩（へんせいがん）がある。

化石（かせき）：昔の生き物の体や生き物が残したあと。（ p21）

河川敷（かせんしき）：堤防（ていぼう）と堤防の間などで、ふだん水が流れていない平地のこと。正式には高水敷（こうすいしき）という。洪水（こうずい）の時に水が流れるところ。広い意味では、ふだん水が流れているところ（低水路）も河川敷にふくまれる。

河川法（かせんほう）：川をどのように管理し、どのように利用するかについて定めた法律。（ p205）

活火山（かつかざん・かつかざん）：おおむね過去1万年以内に噴火（ふんか）したことがわかっている火山と現在活発な噴気活動（ふんきかつどう：ガスがふき出すこと）のある火山（火山噴火予知連絡会・気象庁による定義）。

カムイ（アイヌ語）：「神」のこと。自然の生き物や自然現象を中心に、さまざまなカムイがいる。（ p134）

カムイチェブ（アイヌ語）：サケのこと。神の魚という意味。

カムイモシリ（アイヌ語）：カムイ（神）の国。これに対してアイヌ（人間）が生活する世界をアイヌモシリ（人間の国）という。自然の生き物や自然現象などは、カムイモシリからカムイが何かの目的をもってアイヌモシリにやってきたもの、もしくはやってきたことによって起きたことである。

軽石（かるいし）：火山からふき出したもので、穴がたくさんあいているかたまりのうち、明るい色をしたもの。黒っぽいものは「スコリア」という。マグマにとけていた水分などがガス化して穴をあけた。軽石の火山灰もある。ただ、一般的には細か

いものを軽石と呼ばず「軽石と火山灰」と分けることも多い。  
カルデラ：多くの場合輪かくがほぼ円形の、火山活動によってできた陥没地（かんぼつち：落ちこんだところ）のこと。火口より大きく、多くの場合直径約1km以上で、周囲が急なガケで取り囲まれていることが多い。

カルデラ湖（カルデラこ）：カルデラに水がたまってできた湖。洞爺湖（とうやこ）や摩周湖（ましゅうこ）、支笏湖（しこつこ）など。かつては三股盆地（みつまたぼんち：上士幌町）もカルデラ湖であったという。（ p36）

監獄（かんごく）：今の刑務所（けいむしょ）。（ p160）

間氷期（かんびょうき）：氷期と氷期の間の暖かい時期。

顔料（がんりょう）：ものに色をつける時に使う材料のうち、水や油にとけないもの。水性顔料（すいせいがんりょう）は水の中にとても細かい顔料が混ざっている状態のもので、とけているのではない。

### き

帰農（きのう）：農業をやめていた人や都会で農業をやっていた人が、農業をはじめること、また農業をするためにふるさとへ帰ったり、都会をはなれたりすること。（ p185）

凝灰岩（ぎょうかいがん）：火山からふき出した火山灰が地上や水中にたまり積もり固まってできた岩石。「タフ」ともいう。

恐竜（きょうりゅう）：中生代の陸上八虫類をいう。大きなものになると体長35m、体重75トンというものまでいた。約6,500万年前に絶滅した。

### く

空襲（くうしゅう）：飛行機やヘリコプターなどによる攻撃（こうげき）。（ p197）

くんせい（燻製）：保存性や風味を高めるため、魚や肉などをけむりでいぶしたもの。

### こ

交易（こうえき）：はなれたところに住む人と、ものの交かんや売買をおこなうこと。

洪水（こうずい）：川の水が大雨や雪解けによって、ふだんより流れが増えること。増水（ぞうすい）。水がふだんの流れからあふれ出る「はんらん」を指すこともある。

鉱物（こうぶつ）：水晶（すいしょう）や雲母（うんも）のように化学的成分が均一の結晶体（けっしょうたい）で、一定の性質をもつ無機質（むきしつ）の固体物質をいう。ちなみに岩石は、鉱物やくだけた岩石が集まってできたもの。

広葉樹（こうようじゅ）：カシワやモミジなどのように広く平たい葉をもつ樹木。

護岸（ごがん）：川岸を水の流れから守ること、または守る方法。（ p212）

国郡制（こくぐんせい）：明治2年（1869） 開拓使（かいたくし）が北海道を11国86郡に分けた制度。十勝地方は「十勝国（とかちのくに）」となり、7郡に分けられた。足寄郡（あしよるぐん）は釧路国（くしろのくに）に入れられた。郡名は、多少ズレはあるが、多くが今でも使われている。（ p156）

黒曜石（こくようせき）：ガラス質の火山岩（かざんがん）。

黒っぽいものが多く、割ると貝ガラのような鋭い断面（だんめん）になる。ねばり気が強く（二酸化ケイ素が多く）、水分

の多いマグマが急に冷やされてできるといわれる。石器の材料としてよく使われる。

古砂丘（こさきゅう）：大昔にできた砂丘（さきゅう）のこと。土におおわれたあとでも波をうった地形となっていることがある。十勝では約4万年前の支笏（しこつ）火山灰による古砂丘と約1万8千年前の恵庭（えにわ）火山灰による古砂丘がある。

小作（こさく）：広い土地を持つ地主から土地を借りて耕し、定められた小作料（おもに生産物）を地主にはらうこと。小作をする人を小作人（こさくにん）、小作者（こさくしゃ）、小作農（こさくのう）と呼ぶ。

コタン（アイヌ語）：集落のこと。

戸長役場（こちょうやくば）：役場といっても住民によって選ばれた市町村長や議員はなく、国から任命（にんめい）される戸長のもとで、地域の管理をおこなった。

骨角器（こっかくき）：動物の骨や角（つの）を利用して作られた道具。旧石器時代にも使われていたが、石器や土器とちがって分解され土にかえるため、古い時代のものはなかなか見つからない。

### さ

栽培漁業（さいばいぎょぎょう）：自然産卵（しぜんさんらん）の場合、卵から仔魚（しぎょ）になり、稚魚（ちぎょ）になるまでの間に多くの魚が死んでしまう。そこで、人の手で卵からふ化させ、稚魚（ちぎょ）になるまで育ててから時期を見て自然に放すと、少ない卵からでも多くの成魚が育つようにできる。このように途中（とちゅう）まで人の手で育てた上で魚をとることを栽培漁業という。養殖（ようしょく）のように成魚になるまで育てることをしない。サケなどでおこなわれている。

細胞（さいぼう）：生き物の体を形づくる基本的なもの。

在来種（ざいらいしゅ）：もともとその地域で生きていた生き物。外来種（がいらいしゅ）

砂丘（さきゅう）：砂漠（さばく）など砂が広がった場所で、風によってふき寄せられることでできた砂の丘（おか）。

札幌県（さっぽろけん）：明治15年（1882）開拓使（かいたくし）がなくなり、北海道には函館県（はこだてけん）・札幌県・根室県（ねむろけん）の3県が置かれることになった。翌年には農商務省北海道事業管理局が設置され、この時期を三県一局時代と呼ぶ。十勝はほとんどが札幌県に入り、足寄郡（あしよるぐん）は根室県に入った。（～明治18年〔1885〕）（ p156）

擦文（さつもん）：土器表面を木のへらで擦って（こすって）つけた文様（もんよう：もようのこと）。北海道で8世紀末から13世紀ころまで見られる土器を特ちょうづけ、この時代を擦文時代という。

産卵（さんらん）：卵を産むこと。

産卵床（さんらんしょう）：魚が卵を産むために水底などにつくるくぼみ。自然状態のサケでは、わき水のあるれき質の（小石の）川底をメスがほることでつくり、産卵後、石でおおわれる。ふ化した仔魚（しぎょ）はしばらくこの中で暮らし、稚魚（ちぎょ）にまで育ててエサを食べるようになると流れの中へうき上がる。

### し

仔魚（しぎょ）：ふ化してから、すべてのヒレのスジの数が、成

魚と同じになるまでの子どもの魚。そのあとは稚魚（ちぎょ）という。サケは、仔魚の間は栄養のふくろをつけていてエサをとらず、稚魚になってからエサを食べるようになる。

自作農（じさくのう）：自分の土地を耕す独立した農民。

湿原（しつげん）：しめった場所に広がる草原。かれ草などが分解されにくく（土にかえりにくく）泥炭（でいたん）が得意やすい。

湿地（しっち）：しめった土地。

砂利（じゃり）：小石。小石の集まり。小石に砂が混ざったもの。

集落（しゅうらく）：数軒（すうけん）以上の家が集まって人々が暮らしているところ。アイヌ語でコタン。

しゅんせつ（浚渫）：水面下で水底や水底にたまったものをさらいとること。（ p211）

城柵（じょうさく）：7世紀から、大和朝廷（やまとちやうてい）が東北地方のエミシを支配し、和人を移住させるために設置した、柵（さく）や盛土（もりつち）などで守りを固めた役所。交易の拠点（きょてん）ともされたという。

浄水場（じょうすいじょう）：水を浄化（じょうか）：きれいにすること）して、暮らして使う水道の水（いわゆる水道水）とするところ。

縄文（じょうもん）：土器表面に縄（なわ）を転がすことでつけた文様（もんよう）：もよう）のこと。縄文文化の特ちょうだが、縄文時代が始まってしばらくは、土器に縄文が見られない。北海道では擦文文化（さつもんぶんか）に入ると、見られなくなる。

殖民地（しよくみんち）：開拓者（かいたくしゃ）が開拓をするための土地のことで、役所によって決められ、区分けされている。植民地（しよくみんち）とは異なる。

殖民地解放（しよくみんちかいほう）：開拓者（かいたくしゃ）に殖民地（しよくみんち）：開拓のための土地）貸しつけが始まること。十勝では明治29年（1896）から。

シルト：岩石がとて細かくなったもので、砂と粘土（ねんど）の中間くらいの粒子（りゅうし）の集まり。直径1/16mm～1/256mmのもの。

新水路（しんすいろ）：それまで水が流れていなかった場所に水を流すためつくられた水路。（ p190）

深成岩（しんせいがん）：マグマが地下でゆっくり冷えることによってできた岩石。火成岩（かせいがん）のひとつ。花こう岩やかんらん岩など。

針葉樹（しんようじゅ）：マツやモミなどの針のように細長い葉をもつ樹木。北海道の自然では高地など寒いところで見られる。

## す

水害（すいがい）：川の洪水（こうずい）や海の高潮（たかしお）などによって、人の暮らしがダメージを受けること。

水制（すいせい）：岸から流れの中に流れにくいもの（大型のコンクリートブロックやくいなど）をつき出すように置くことで、その場所の流れをおさえ、川岸がけずられるのを防ぎ、川が運ぶ土砂をため、流れを岸から遠ざける方法。（ p212）

スサム（アイヌ語）：シシャモのこと。「シシャモ」ということばは「スサム」からできた。スサムは「スス・ハム（ヤナギ・葉）」からきている。（ p119）

砂（すな）：細かい石。地質学では、岩がぐだけたものうち直径2mm～1/16mmのものをいう。

## せ

生態系（せいたいけい）：生き物の集まりとその周りの環境が、つながりまとまっている様（系）：けい）。

石器（せっき）：石を加工してつくられた道具のこと。ナイフ、ヤリ先、ヤジリ（矢の先）、皮をなめすためのスクレイパー、キリ、すり石、石おの、漁網（きょもう）のおもりなど、さまざまな道具が、いろいろな技術によって作られている。

先史時代（せんしじだい）：文字による記録がない時代のこと。

扇状地（せんじょうち）：川の水は、流れが速いほど大きなれき（石）を運ぶことができる。山地の急流が平地に流れ出すと、流れがおそくなっていくため、それまで運んでいたれきを大きなものから置き去りにしていく。こうしてできたななめで、おうぎ形（扇形）に広がった平地を扇状地という。

扇状地面（せんじょうちめん）：扇状地の表面。段丘（だんきゅう）：段丘（だんきゅう）ができたあと、扇状地であったところがほとんどけずられずに残されてできた段丘面（だんきゅうめん）のことを、とくに分けて扇状地面ということがある。

## た

堆積岩（たいせきがん）：海底や湖底、あるいは地表にたまり重なったものが固まってできた岩石。

蛇行（だこう）：曲がりくねっていること。曲がりくねって進むことや流れること。

多細胞生物（たさいぼうせいぶつ）：細胞（さいぼう）がたくさん集まってひとつの体をつくっている生き物。人も犬もヤナギもタンポポもクワガタもカモ多細胞生物。単細胞生物（たんさいぼうせいぶつ）

館（たて）：14～15世紀に北海道南西部へ移住した和人がつくった、その地域（ちいき）の支配拠点（しはいきょてん）であり、交易拠点（こうえききょてん）であり、戦いの砦（とりで）となったもの。

竪穴式住居（たてあなしきじゅうきょ）：地面を数十cmほり下げた床（ゆか）（と壁〔かべ〕）にして、柱を立て、草や樹皮などの屋根をかぶせた家のこと。地面に対してタテに穴をほるため、「竪穴式」と呼ばれる。洞窟（どうくつ）など斜面やガケの横穴を利用した「横穴式住居」に対応した名前。北海道では縄文時代（じょうもんじだい）から、続縄文時代（ぞくじょうもんじだい）擦文時代（さつもんじだい）までつくられる。（ p85）

タフ（tuff・英語）：火山からふき出した火山灰が地上や水中にたまり積もってきた岩石。「凝灰岩（ぎょうかいがん）」。タモ網（タモあみ）：細い枝や竹、針金などの口輪がついたふくろ状の網（あみ）に柄（え）をつけたもの。虫取り網のようなもの。魚をすくい取るのに使う。

段丘（だんきゅう）：川の流れに対してだいたい平行にあり、ガケと平地でできている階段のような丘（おか）。川の流れの速さが速い時に川底を深くけずり、おそくなった時に横方向に谷を広げて平地をつくることのできる。（ p49）

段丘面（だんきゅうめん）：段丘（だんきゅう）の上にある平地。階段でいえば、足をおくところ。かつて川がその高さを流れていた時には、氾濫原（はんらんげん）だった場所。もともと扇

状地(せんじょうち)だった平地の場合は、「扇状地面(せんじょうちめん)」として分けることがある。( p49)

団体入植(だんたいにゅうしょく):近くに住民たちが集まり、また、大きな農場にやとわれ(小作となり)、開拓するために集団で移住すること。( p166)

単細胞生物(たんさいぼうせいぶつ):生まれてから死ぬまで、ひとつだけの細胞(さいぼう)で体ができている生き物。多細胞生物(たさいぼうせいぶつ)

断層(だんそう):地層や岩盤(がんばん:岩の板)に力がかかって割れ、割れ目にそってずれたところ。これからも動く可能性がある断層を「活断層(かつだんそう)」という。

## ち

チェブ(アイヌ語):魚のこと。

稚魚(ちぎょ):すべてのヒレのスジの数が、成魚と同じになってから、ウロコができあがるまでの間の魚。その前は仔魚(しぎょ)という。

治水(ちすい):洪水(こうずい)による水害から人間の生命・財産・生活を守ること。おもに川自体や川にかかわる施設(しせつ)などを整備すること。( p211)

チセ(アイヌ語):家のこと。平地式住居。( p130)

チブ(アイヌ語):舟(ふね)、とくに丸木舟(まるきぶね)のこと。( p128)

チャシ(アイヌ語):アイヌ文化期につくられた、高台の地面に一本から数本のみぞ(壕:ごう)がめぐらしてあるところ。目的ははっきりとわかっていないが、伝承によると、戦いの時の砦(とりで)、カムイがやってくる場所、見張り場、話し合い(チャランケ)の場所、などとされている。1669年のシャクシャインの戦いの時、シャクシャインはシベチャリチャシ(新ひだか町静内)を砦として利用した。チャシのあとのことをアイヌ語ではチャシコツ(チャシあとの意味)といい、豊頃町の安骨(あんこつ)は元はチャシコツにあてた字だった。( p116)

柱状節理(ちゅうじょうせつり):節理(せつり)とは、ズレがないひび割れのこと。岩体が冷えて体積が収縮する時、このひび割れがタテに入ること、岩が柱のように分かれる。この場合の割れ目を柱状節理という。層雲峡(そうんきょう:上川町)が有名だが、十勝でも、屈足(新得町)や黒石平(上士幌町)などの川ぞいで見ることができる。( p37)

徴兵(ちょうへい):国が国民を強制的に軍隊に入れること。( p196)

## て

泥炭(でいたん):湿原(しつげん)でかれた草などの分解がすすまず(あまり土にかえらず)、炭のようになっていったもの。石炭になり始めの段階。

堤防(ていぼう):川の堤防は、流れにそって土などを長く盛り上げ、川の水が増えても下流に流せるようにしたもの。( p211)

寺子屋(てらこや):江戸時代にあった、あまり身分が高くない人のための学校や塾(じゅく)のようなもの。武士・僧(そう)・医者などが先生となり、習字・読み方・そろばんなどを教えた。明治時代の十勝では、開拓地(かいたくち)にあった寺で僧が先生となって教育したところをいう。( p168)

## と

頭首工(とうしゅこう):川や湖などの水を用水路に引き入れるための施設(しせつ)。ふつうは、せき、取り入れ口、そしてそれともなう施設(しせつ)から構成されている。千代田堰堤(ちよだえんてい)は頭首工の一部にあたる。( p214・p194)

凍上抑制層(とうじょうよくせいそう):冬になると地面(の水分)がこおる。寒さがきびしいと地中までこおりつき、土の体積が大きくなることで地面が持ち上がり(凍上し)、道路の舗装(ほそう)などをこわす。そこで、道路工事などの時、寒くなくてもこおりつかない深さまで土をとりのぞき、水はけがよく、こおりつきにくいもの(火山灰や砂利〔じゃり〕など)を厚くしく。この層のことを凍上抑制層という。( p39)

十勝組合(とちかくみあい):明治時代に入り、開拓使(かいたくし)によって、それまでの交易や産業に対する商人による支配がなくなっていくが、十勝では支配がなくなることにより、道路や宿などの管理者がいなくなることで、アイヌ民族のかせぐところが失われ、さらに和人が漁場や山野に入ってくることで、アイヌ民族の暮らしが成り立たなくなることが予想された。そこで明治8年(1875)、開拓使の強いすすめにより、それまで支配商だった福嶋屋(ふくしまや)(杉浦家)の支配人である若松忠治郎(わかまつちゅうじろう)を中心にした和人数人とアイヌ民族7人を代表とする「十勝組合」がつくられ、十勝の産業(漁や狩り)と交易を管理、発展させた。実質的な活動は明治10~12年(1877~79)だったが、かなりの利益をあげ、福嶋屋杉浦家からの借りを返し、教育所を建て、病院新設にもお金を出し、残ったお金を代表13人と和人数40人あまり、アイヌ民族277戸で分けた。この十勝組合の発展を知った和人が、十勝での漁や狩りの解放を求め、また、交易や密猟(みつりょう)をおこなうためやってくるようになった。十勝組合は明治13年(1880)に解散した。( p145)

土器(どき):粘土(ねんど)をこねて形にし、火で焼いて作ったナベやカメなどの器(うつわ)のこと。土器が使われるようになって縄文文化(じょうもんぶんか)に入る。表面に付けられた文様(もんよう:もようのこと)や形は時代や時期によって変化する。北海道では擦文時代(さつもんじだい)まで使われ、アイヌ文化になって使われなくなる。

土偶(どぐう):人の形をした土製の焼き物。( p95)

渡船(とせん):橋がないところで川をわたるための舟(ふね)。人とちょっとした荷物が乗るくらいのもので、自動車やバスを運んだものまでいろいろある。渡し舟(わたしぶね)ともいう。渡船の舟着き場(ふなつきば)を渡船場(とせんば)という。( p176)

砦(とりで):外敵から大切な場所を守るためにつくる構築物。

## な

ナイ(アイヌ語):川のこと。厚内(あつない)・札内(さつない)・糠内(ぬかない)・長流枝内(おさるしない)・新内(にいない)などの「内」は、この「ナイ」にあてた漢字。( p127)

## に

二級町村(にきゅうちょうそん):町村長は国から任命されるが、

町村会の議員は住民が選ぶことのできる町や村。

## ぬ

ヌサ(アイヌ語)：イナウをいくつも立てた祭だん。各家の外の  
上流側にあり、カムイノミ(カムイへのいのり)の時などには、  
新たに作られたイナウが立ちならぶ。( p134)

## ね

粘土(ねんど)：岩石や鉱物(こうぶつ)が、とても細かくなっ  
たもの(直径1/256mm以下)。水分があるとねばりけがあり、  
いろいろな形を作ることができ、熱すると固くなる。土器や陶  
器(とうき)などをつくる材料となる。

## の

農地改革(のうちいかく)：農地の所有制度を改めること。と  
くに第二次大戦後、昭和22年(1947)から、連合国軍最高司  
令官総司令部(GHQ)の指令によって行われた日本農業の改革  
で、農地のあるところに住んでいない地主(不在地主)のすべ  
ての農地と、農地の近くに住んでいる地主の貸しつけ地のうち  
保有限度(北海道で4畝)をこえる農地を国が(安く)買いと  
り、小作者に売りわたして自作農にしたことを指す。( p  
149・p185)

農地解放(のうちかいほう)：大農場や地主が小作者(こさくし  
ゃ)に土地を分けあたえ、自作農にさせること。( p185)

## は

場所(ばしょ)：江戸時代(えどじだい)、松前藩(まつまえ  
はん)がアイヌ民族との交易をするために北海道を区切ったが、  
その区切りを「場所」あるいは「商場(あきないば)」とい  
った。十勝地方は「トカチ場所」とされた。( p137)

場所請負制度(ばしょうけおいせいど)：はじめ、アイヌ民族と  
の交易のために区切られた「場所」では、松前藩(まつまえは  
ん)の上級家臣が直接交易を支配をしていたが、のちに、商人  
がその家臣や松前藩に対してお金を支払うことで、一定期間、  
その「場所」で交易することができるようにされた。その制度  
のことを場所請負制度という。( p140)

は虫類(はちゅうるい・爬虫類)：ワニ、トカゲ、ヘビ、カメの  
仲間のこと。絶滅した恐竜(きょうりゅう)もこの仲間とい  
われている。

発掘・発掘調査(はくつ・はくつちょうさ)：昔のできごと  
や暮らし、生き物のことなどを調べるために、地面をほること。  
一度ほってしまうと元にはもどせないで、しんちょうにおこ  
なわれる。遺跡(いせき)の場合、文化財保護法(ぶんかざい  
ほごほう)によって、発掘が禁止されていて、工事などでこわ  
されてしまう場合か、学術的に必要な場合だけ許可されている。

馬頭観音(ばとうかんのん)：もともとは、観音(かんのん)が  
変身したすがたの一つで、迷いをなくし悪を破壊(はかい)す  
る菩薩(ぼさつ)だった。それが、時がたつうちに、馬を病や  
ケガから守る力をもつものとして、信仰(しんこう)されるよ  
うになっていった。馬頭観世音菩薩(ばとうかんのんぼさつ)。

氾濫(はんらん)：川の水がふだん流れている水路からあふれ出  
すこと。堤防(ていぼう)がある場所では、堤防からあふれ出  
すことをいう。

氾濫原(はんらんげん)：洪水(こうずい)で川から水があふれ  
ることのできた、ゆるい傾斜(けいしゃ：かたむき)の土地。

川の流れとあまり高さが変わらず、洪水の時水があふれやすい  
場所で、また、川の流れが移る可能性があるところでもある。

## ひ

引き揚げ者(ひきあげしゃ)：昭和20年(1945)まで日本の支  
配下にあったり日本領だったところに暮らしていた日本人で、  
敗戦によって今の日本領に帰ってきた人のこと。( p185)

樋門(ひもん)：堤防(ていぼう)の下をくぐるとびらのついた  
水路のこと。堤防があっても水の出入りができるようにするた  
めのもの、洪水(こうずい)の時にはとびらが閉じられる。  
( p213)

氷河(ひょうが)：長年にわたって積もった雪が、その重みで固  
まって巨大な氷となり、ゆっくりと斜面(しゃめん)を下って  
いくもの。( p52)

氷期(ひょうき)：地球の気候が長い間(数万年以上)寒くなる時で、  
氷床(ひょうしょう)や氷河(ひょうが)が広がる時。正確に  
は中緯度(ちゅういど)の非山岳(ひさんがく)地帯に氷床が  
存在している時期。過去に何度もあり、氷期と氷期の間の暖か  
い時期を「間氷期(かんぴょうき)」という。最も最近の氷期  
(最終氷期)は約8万~1万年前だった。( p52)

## ふ

風化(ふうか)：地表にある岩石が、空気・日光・風雨雪・温度  
などにさらされることで、だんだんとこわれていくこと。

風俗(ふうぞく)：衣食住など暮らしの中における決まり事やな  
らわし、身なりなど。

ふ化(ふか・孵化)：生き物が卵からかえること。または、生き  
物を卵からかえすこと。

ふ化場(ふかじょう・孵化場)：生き物の卵をかえすための場所。  
この本では、サケのふ化場のことをいう。サケのふ化場では、  
川でつかまえた親ザケが成熟するまで池で育て、サケのメスか  
ら卵を採り出し、オスの精液をかけて受精させ、卵を育て、サ  
ケの子ども(仔魚：しぎょ)をふ化させ、稚魚(ちぎょ)にな  
るまで育て、時期を見て川に放流する。

複合古砂丘(ふくごうこさきゅう)：砂丘(さきゅう)ができた  
あとしばらくたってから、新しい砂漠(さばく)ができた時、  
前の砂丘(古砂丘〔こさきゅう〕)の上に新しい砂丘が重な  
るようにしてできた、二重の古砂丘のこと。十勝では約4万  
年前の支笏(しこつ)火山灰による古砂丘の上に約1万8千年  
前の恵庭(えにわ)火山灰による古砂丘ができ、複合古砂丘と  
なっている。( p61)

副葬品(ふくそうひん)：亡くなった人といっしょに墓に入れら  
れるもの。生前使っていたものや、死後の世界で使うもの、死  
者の霊(れい)をなぐさめるものなど。

プレート：地球の表面すべてをおおう、厚さ約100kmの岩盤(が  
んばん：岩の板)のこと。大きく分けて十数枚あり、つめの  
びるくらいの速さでたがいに動いている。( p23)

噴煙(ふんえん)：火山灰や火山ガス、水滴(すいてき)などが  
一体になってふき出し、煙(けむり)のように見えるもの。火  
口から立ち上った噴煙をとくに噴煙柱(ふんえんちゅう)とい  
う。

噴火(ふんか)：火口(かこう)からマグマや火山ガスがふき出  
すこと。同時に火道(かどう：マグマの通り道)にあった岩石

なども放出されることが多い。マグマのねばりが強くガスがで  
きやすいと、爆発的（ばくはつてき）に噴火する可能性が高  
くなる。

文化財保護法（ぶんかざいほごほう）：文化財を保存して活用を  
することによって、国民の文化的向上や世界の文化の進歩に役  
立てることを目的とした法律。土の中の遺跡（いせき）は、こ  
の法律の中で「埋蔵文化財（まいぞうぶんかざい）」として  
保護の対象となっていて、基本的に、ほらずに未来へ残すこと  
になっている。（ p70）

## へ

平地式住居（へいちしきじゅうきょ）：地面をほり下げず、その  
まま床（ゆか）とした家（草やゴザなどはしく）。北海道では、  
縄文時代にもつくられていたが、とくにアイヌ文化に入ってから  
このタイプの家が主流となる。アイヌ文化でも倉庫では高床  
式（たかゆかしき）のものがつくられている。

ベツ（アイヌ語）：川のこと。直別（ちよくべつ）・利別（とし  
べつ）・更別（さらべつ）・途別（とべつ）・本別（ほんべ  
つ）・戸薦別（とったべつ）などの「別」や、音調津（おしら  
べつ）の「べつ」、あるいは居辺（おりべ）の「辺」は、こ  
の「ベツ」にあてたもの。（ p127）

変成岩（へんせいがん）：すでに岩石となっていたものが、熱や  
圧力を受けることで、形づくっている鉱物（こうぶつ）の組み  
合わせや岩石のつくりが変化したもの。

## ほ

ほ乳類（ほにゅうい・哺乳類）：生まれたばかりの子どもが母  
親（またはそれに代わるメス）の乳によって育てられる動物。  
人も牛もネズミもコウモリもほ乳類。

盆地（ぼんち）：内陸で、周りを山や丘（おか）で囲まれた平地。

## ま

マグマ：地下にあるとけた状態（じょうたい）の岩石。マグマが  
冷えて固まったものが火成岩（かせいがん）。マグマが地上に  
流れ出したもの（とそれが固まったもの）が溶岩（ようがん）。

丸木舟（まるきぶね）：太くまっすぐにのびた木の幹をけずり、  
くりぬくことで舟（ふね）にしたもの。アイヌ語ではチフ。

マレク（アイヌ語）：魚をとる道具。カギが台木についたもので、  
2～3mの柄（え）の先につけて魚につきさす。ささると、カ  
ギが台木からはずれひもでぶらさがるため、カギにかえしがな  
くても魚がはずれない。（ p120）

## み

密猟（みつりょう）：法律や規則に従わずに、動物をとること。

密漁（みつりょう）：法律や規則に従わずに、魚などをとること。

## む

無願開墾（むがんかいこん）：役所の許可をもらわないで、開墾  
（かいこん：山野を開いて農地にすること）をおこなうこと。

## も

モール（moor・ドイツ語）：（泥炭〔でいたん〕におおわれ  
た）湿原（しつげん）。

モール温泉（モールおんせん）：植物性の成分が入った温泉。十  
勝川温泉や帯広市内など、十勝中央部（の地下）に広くある。

## や

焼き干し（やきぼし）：魚を焼いてから干し、保存性を高めたも

の。

ヤジリ（矢尻・鎌）：矢の先の、えものや的につきささるところ。  
ヤリ（槍）：長い柄（え）の先に、先のとがった刃物（はもの）  
をつけた狩り（かり）の道具。戦いの武器ともされる。

## よ

溶岩（ようがん）：マグマが液体のまま地表に流れ出てきたもの。  
またそれが固まってできた岩石のことも溶岩という。

溶結凝灰岩（ようけつぎょうかいがん）：火砕流（かさいりゅう）  
などによって温度が高いまま厚くたまった火山灰で、中の火山  
ガラスが変形してくっつきあうことでかたく固まってできた岩  
石。固まり、冷える時に縮むことで、タテにヒビ（柱状節理：  
ちゅうじょうせつり）が入ることがある。（ p37・p39）

養蚕（ようさん）：サナギのまゆから絹糸になる生糸（きいと）  
をとるために、カイコ（カイコガの幼虫）を飼うこと。

## ら

落葉広葉樹（らくようこうようじゅ）：広葉樹（こうようじゅ）  
のうち、冬など決まった季節になると、葉を落としてつけなく  
なる樹木。

## り

流送（りゅうそう）：木材を川の水にうかべて、水の流れて下流  
へ送ること。（ p180）

## る

ルイベ（アイヌ語）：魚をこおらしたあととかす料理・保存法。  
場所によって異なる方法を指す。「とけた食べもの」の意味。  
料理の「ルイベ」の語源。（ p123）

## れ

れき（礫）：岩がくだけたもので直径2mm以上のもの。2mm以下  
のものは「砂」、1/16mm以下のものを「シルト」、1/256mm  
以下のものを「粘土（ねんど）」という。

レッドデータブック（Red Data Book・英語）：絶滅のおそれ  
がある野生生物について記載（きさい）したデータブックのこ  
と。もとは国際自然保護連合が作成し、その後、各国や団体によ  
っても作られている。日本では国（環境省：かんきょうしょ  
う）が作成していて、北海道でも「レッドデータリスト」が作  
られている。（ p216）

レリック：過去に栄え、その後はおとろえている生物のこと。北  
海道のナキウサギなどは氷期のレリックである。個体数が減っ  
たもの、分布がせまくなったものもレリックである。生きてい  
る化石または遺存種（いぞんしゅ）ともいう。（ p63）

## ろ

ローム：砂と粘土（ねんど）がほどほどに混じり合った土。少し  
ねばりけがある。

露頭（ろとう）：川の流れや工事などによって地面がタテにけず  
り取られることで、地下にある地層が見えるようになったガケ  
や斜面（しゃめん）のこと。（ p21）

## わ

和人（わじん）：北海道ではアイヌ民族やほかの少数民族以外の  
日本人のこと。また、かつて大和朝廷（やまとちやうてい）  
（に連なる政府）の支配下で、大和の文化で暮らしていた人々  
のこと。古くは中国において日本人を指したことば（倭人：わ  
じん）。



第1章から第5章までの文章に出てくることばのうち、ポイントとなるものを五十音順にならべてあります（年表はのぞく）。そのことばについて説明してあるページや、写真などが載っているページの数字は太字で示してあります（多い場合には○印も）。そのことば自体が文中になくともその内容が解説してある場合には、そのページ番号もせてあります。

■ 数字 ■

19条川(19じょうがわ) …… 94

■ アルファベット ■

Ar(アルゴンの元素記号) …… 22
C(炭素の元素記号) …… 22, 70
Eポート(イーポート) …… 226
K(カリウムの元素記号) …… 22
KT境界(ケイティーきょうかい) …… 25
KT境界層(ケイティーきょうかいそう) …… 25
RAC(ラック) …… 239
U字谷(ユーじこく) …… 53
V字谷(ブイじこく) …… 53, 57, 65

■ あ ■

アート …… 235
相生1遺跡(あいおい1いせき) …… 71, 96, 98
相生中島(あいおいなかじま) …… 242
アイヌ語(アイヌゴ) …… 112~135, 136~151, 159, 167, 201, 208~209, 232, 240
アイヌ語地名(あいぬごちめい) …… 116~117, 126, ○127, 136, 138~139, 140~141, 142, 148, 151, 158, 167, 170, 188, 189, 201, 208~209, 240
アイヌ文化(アイヌぶんか) …… 82, 101, 104, 105, 110, 111, ○112~135, 136, 142, 144~148, 150, 151, 175, 209, 236, 244, 245
アイヌ文化振興法(アイヌぶんかしんこうほう) …… 150
アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律(アイヌぶんかのしんこうならびにアイヌのでんとうとうにかんするちしきのふきゅうおよびけいはつにかんするほうりつ) …… 150
アイヌ民族(アイヌみんぞく) …… 111~151, 156, 158, 159, 162, 163, 168, 173, 174, 176, 179, 185, 187, 198, 199, 200, 232, 245, 246
アイヌ民族文化情報センター「リウカ」(アイヌみんぞくぶんかじょうほうセンター「リウカ」) …… 151
アイヌモシリ(アイヌ語) …… 134
青山奥左衛門(あおやまおくざえもん) …… 166, 167

青山小学校(あおやましょうがっこう) …… 161
赤井川(あかいがわ) …… 74
「赤いダイヤ」(あかいダイヤ) …… 232
暁遺跡(あかつきいせき) …… 70, 71, 78~79, 81, 85, 90, 91, 99
暁式土器(あかつきしきどき) …… 91
アカボウクジラ …… 26
亜寒帯(あかんたい) …… 22
商場(あきなえば) …… 137
アクセサリー …… 99
朝日川(あさひがわ) …… 127
朝日面(あさひめん) …… 49
アシ(別名ヨシ) …… 130, 172, 216, 227, 243
アジア大陸(アジアたいりく) …… 24
足あとの化石(あしあとのかせき) …… 21
アシカ …… 34
アショロア …… 26~27, 28, 31
足寄川(あしよろがわ) …… 127, 177, 215
足寄郡(あしよろぐん) …… 156, 157
足寄動物化石博物館(あしよろどうぶつかせきはくぶつかん) …… 21, 26~27, 28, 30, 34, 43
足寄村(あしよろむら) …… 157
阿蘇火山灰(あそかざんばい) …… 61
阿蘇山(あそさん) …… 61
遊び(あそび) …… 224, 227
アソピウ(アイヌ語) …… 133, 141
アダプトプログラム …… 238
亜炭(あたん) …… 21, 25, 32, 40~41, 42, 43
アツツ島(アツツとう) …… 197
アットゥシ(アイヌ語) …… 133, 136, 141
アテルイ …… 110
アニサキス …… 123
亜水期(あひょうき) …… 53
阿倍比羅夫(あべのひらふ) …… 110
アペフチカムイ(アイヌ語) …… 130, 134
雨ごい(あまごい) …… 200
アマツボ(アイヌ語) …… 121, 145
網(あみ) …… 85, 86, 90, 93, 119, 122, 135, 173, 229, 235, 236
アムール川 …… 62, 92
アユ …… 237
アリトムテ …… 151
アルプス …… 52
アワ(粟) …… 112, 118
安藤氏(あんでうし) …… 111, 113, 137
アンモナイト …… 24, 25

■ い ■

家(いえ) …… 57, 73, 82, 85, 90, 91, 94, 98, 100, 101, 102, 103, 105, 111, 112, 130, 131, 134, 142, 149, 159, 162, 166, 167, 171, 172, 181, 185, 186, 187, 199, 212, 220, 240, 241
イオマンテ(アイヌ語) …… 104, 130, 131
イオル(アイヌ語) …… 82, 138, 150, 156
イカダ …… 221, 226
イクパスイ(アイヌ語) …… 134, 136
イクラ …… 122, 123, 125
池田3遺跡(いけだ3いせき) …… 71, 96, 98, 100, 102
池田小学校(いけだしょうがっこう) …… 169
「池田町開拓夜話」(いけだちようかいたくやわ) …… 161, 163, 165, 169, 173, 178, 187, 195, 233
池田仲博(いけだなかひろ) …… 165
池田農場(いけだのうじょう) …… 127, 164, 165, 166, 167, 168, 169, 185, 195
いこい(憩い) …… 224
石おの(いしおの:石斧) …… 80, 85, 86, 87, 90
石狩川(いしかりがわ) …… 101
石狩山地(いしかりさんち) …… 44, 46, 78, 114
石狩紅葉山49号遺跡(いしかりもみじやま49ごういせき) …… 87, 93, 129
石切場(いしきりば) …… 30, 31
石坂面(いしざかめん) …… 49
石のアート(いしのアート) …… 235
石の絵画(いしのかいが) …… 235
石むし料理(いしむしりょうり:石蒸し料理) …… 76
移住(いじゅう) …… 113, 143, 147, 156, 158~167, 175, 178, 185, 187, 188, 191, 192, 195, 232
遺跡(いせき) …… 70~105(70, 71, 82, 85, 87, 98, 99), 111, 236, 240
遺存種(いぞんしゅ) …… 63, 64
イタオマチブ(アイヌ語) …… 128
イタドリの釣りざお(イタドリのつりざお) …… 222
イタラタキ川 …… 63
イタンキ(アイヌ語) …… 136, 151
イチャニウ(アイヌ語) …… 119
一級町村(いつきゅうちょうそん) …… 157

一本山展望タワー(いっぼんやまてんぼうタワー) …… 53
糸(いと) …… 99, 103, 147
糸魚川(いといがわ) …… 99
イトウ …… 90, 93, 114, 115, 118, 119, 173, 217, 229, 238, 245, 246, 247
糸つむぎ(いとつむぎ) …… 103
イナウ(アイヌ語) …… 122, 128, 130, 134, 135
イナキビ(稲黍) …… 163, 173, 194, 195
稲士別川(いなしべつがわ) …… 35, 214
稲士別タフ(いなしべつたふ) …… 32, 39
稲田1遺跡(いなだ1いせき) …… 71, 82, 92, 94
伊能忠敬(いのうただたか) …… 142
イノシシ(猪) …… 96, 98
祈り(いのり) …… 110, 120, 122, 128, 134, 136, 245
イパクニ(アイヌ語) …… 122, 135
イベツカレ …… 151
イベント …… 225
移民(いみん) …… 165, 166, 167
イリジウム …… 25
入れ墨(いれずみ) …… 99, 144
いん石(いんせき:隕石) …… 25
インド大陸(インドたいりく) …… 24
インドプレート …… 24
インブリケーション …… 45
ウィルタ …… 113
飢え(うえ) …… 103, 146~147, 148, 163, 173, 181, 236
上西晴浩(うえにしはるじ) …… 232
ウグイ …… 93, 118, 119, 173, 222, 245
有珠山(うすざん) …… 139
歌(うた) …… 132, 150, 207, 230~231
ウタフ …… 138
ウチダザリガニ …… 219
ウツベツ川 …… 239
腕輪(うでわ) …… 96, 99
ウポボ(アイヌ語) …… 132, 150
馬(うま) …… 110, 163, 169, 176, 181, 186, 187, 191, 193, 196, 199
海(うみ) …… 23, 26, 28, 29, 31, 32~33, 34~35, 36, 43, 62, 64, 72, 80, 84, 91, 92, 93, 94, 96, 100, 102~104, 113, 118, 126, 128, 139, 173, 178~179, 209, 236, 242, 243, 244
海砂(うみずな) …… 35, 209
ウライ(アイヌ語) …… 119

第1章 十勝の平野と川がくまのまち
第2章 先史時代と川
第3章 アイヌ文化と川
第4章 十勝開拓と川
第5章 発展、今、そして未来へ

用語
ウツベツ

浦幌川(うらほろがわ) …… 92, 127, 177, 209, 215

浦幌新吉野台細石器遺跡(うらほろしんよしのだいさいせつきいせき) …… 71, 92

浦幌炭鉱(うらほろたんこう) …… 25

浦幌町立博物館(うらほろちょうりつはくぶつかん) …… 93, 100, 246

浦幌十勝川(うらほろとかちがわ) …… 100, 102, 104, 170, 177, 208~209

浦幌十勝導水路(うらほろとかちどうすいろ) …… 209

浦幌村(うらほろむら) …… 157, 197

ウラルポロ(アイヌ語地名) …… 127

売買川(うりかりがわ) …… 54, 82, 90, 91, 92, 174, 238, 239

うるしぬり(漆塗り) …… 96, 112, 121, 136, 151

運搬(うんぱん:川の力) …… 65

**■ え ■**

絵(え) …… 234, 235

栄養分(えいようぶん) …… 243, 244

エールセンター …… 239

駅(えき) …… 184

エキスカベーター …… 190, 206

駅通所(えきていしよ・えきていじよ) …… 163, 169, 175

エゴノキのタネ化石(エゴノキのタネかせき) …… 51

エコロジー …… 245

エサオマン氷期(エサオマンひょうき) …… 53

エシヨロベツ(アイヌ語地名) …… 127

エゾシカ …… 84, 114, 115, 141, 145

エゾタマガイ …… 34, 35

エゾタマキガイ …… 34, 35

エゾタンポポ …… 219

蝦夷地(えぞち) …… 137, 144, 156, 159

蝦夷錦(えぞにしき) …… 136

蝦夷文化考古館(えぞぶんかこうこかん) …… 128, 150, 151

エゾベニヒツジグサ …… 216

エゾマツ …… 80, 81, 84, 96, 128, 141, 180

恵津美川(えつみがわ) …… 200

江戸時代(えどじだい) …… 103, 113, 126, 129, 156, 158, 159, 176, 246

江戸幕府(えどばくふ) …… 137, 138, 142, 143, 144

エトロフ(アイヌ語地名: 択捉島) …… 100, 102, 113, 142, 144, 156

恵庭a 火山灰(えにわエイかざんばい) …… 49

恵庭火山灰(えにわかざんばい) …… 49, 53, 56, 58, 59, 60, 61, 64, 73, 77, 82

恵庭岳(えにわだけ) …… 53, 56, 58, 59, 61, 64, 73, 77, 82

エハ(アイヌ語) …… 121

江別太遺跡(えべつづといせき) …… 101

エミシ(蝦夷) …… 110, 113

エリ …… 93

遠足(えんそく) …… 224, 240

えん堤(えんてい) …… 194~195, 213

**■ お ■**

生花苗沼(おいかまないぬま) …… 177

オйна(アイヌ語) …… 132

オオウバユリ …… 115, 121

大川宇八郎(おおかわうはちろう) …… 158

大空遺跡(おおぞらいせき) …… 71, 81

オオタカ …… 136

大津街道(おおつかいどう) …… 160, 163, 175

大津川(おおつがわ) …… 170, 175, 177, 186, 208~209

大津小学校(おおつしょうがっこう) …… 168

オオツノシカ …… 62

大津村(おおつむら) …… 157, 159, 197

大麦(オオムギ) …… 104~105

おがくず(大鋸屑) = 支笏火山灰(しこつかざんばい) …… 55, 59

おがみ小屋(おがみごや) …… 167

沖田川(おきたがわ) …… 35

送り・送る(おくり・おくる) …… 94~95, 104, 117, 122, 128, 131

小栗沢川(おぐりざわがわ) …… 201

置戸(おけと) …… 74, 78

長流枝内川(おさるしながわ) …… 201

長流枝内丘陵(おさるしなきゅうりょう) …… 40

長流枝内層(おさるしないう) …… 34~35, 43

長流枝内の海(おさるしないうみ) …… 34~35

オシタツ川 …… 98, 170

オシヨロコマ …… 119

オシラベツ(アイヌ語地名) …… 141

音調津小・中学校(おしらべつしょう・ちゅうがっこう) …… 168

尾田面(おだめん) …… 47, 49

オツパイ山(オツパイやま) …… 132, 134

オツパイ山大祭(オツパイやまたいさい) …… 132, 134

オツワツキ(アイヌ語) …… 118, 119

落とし穴(おとしあな) …… 92, 94

音更川(おとふけがわ) …… 36, 46, 54, 56, 74, 76, 101, 116, 127, 161, 177, 180, 182, 214, 215, 220, 239, 240

オトツケ(アイヌ語地名) …… 127

音更山道(おとふけさんどう) …… 161

音更村(おとふけむら) …… 157, 197

おどり(踊り) …… 132, 150

オニグルミ …… 64, 84, 114

オニビシ …… 138

おの(斧) …… 80, 85, 86, 87, 104, 172

帯広カムイトウウボボ保存会(おびひろカムイトウウボボほぞんかい) …… 132, 150

帯広川(おびひろがわ) …… 90, 91, 94, 127, 142, 174, 212, 215, 219, 239, 246

帯広市図書館(おびひろしとしょかん) …… 233

帯広小学校(おびひろしょうがっこう) …… 161, 168

帯広尋常小学校(おびひろじんじょうしょうがっこう) …… 161

帯広町(おびひろちょう) …… 157

帯広百年記念館(おびひろひゃくねんきねんかん) …… 21, 43, 62, 73, 79, 86, 91, 93, 104, 118, 120, 121, 128, 136, 145, 151, 160

帯広百年記念館アイヌ民族文化情報センター「リウカ」(おびひろひゃくねんきねんかんアイヌみんぞくぶんかじょうほうセンター「リウカ」) …… 151

帯広ふ化場(おびひろふかじょう) …… 174

オヒョウ …… 133, 141

生剛村(おべっこうむら) …… 157

オベリベリ …… 143, 158

オベレベレケブ(アイヌ語地名) …… 127, 189

オホーツクプレート …… 24, 28, 32

オホーツク文化(オホーツクぶんか) …… 102, 103, 104

オホツナイ(アイヌ語地名) …… 170, 208~209

オムシャ(アイヌ語) …… 140

おもり …… 86, 90, 93, 236

オラフオロ(アイヌ語地名) …… 127

居辺川(おりべがわ) …… 74

尾張団体(おわりだんたい) …… 166

温泉(おんせん) …… 43

**■ か ■**

カール …… 52~53

貝(かい) …… 21, 22, 32~33, 34~35, 43, 86, 88, 91, 99, 126, 201, 243

権(かい) …… 87, 93, 101, 129, 176

絵画(かいが) …… 234, 235

貝化石(かいかせき) …… 21, 22, 32~33, 34~35, 43

海溝(かいこう) …… 23, 24

開墾(かいこん) …… 147, 162, 163, 165

「開墾の記」(かいこんのき) …… 233

会所(かいしょ) …… 158

海進(かいしん) …… 64, 80, 84, 93, 94, 102, 103

海成層(かいせいそう) …… 33

開成橋(かいせいばし) …… 176, 182, 183

海藻(かいそう) …… 243

海退(かいたい) …… 62, 72, 96, 103

開拓(かいたく) …… 126, 129, 143, 147, 149, 156~201, 206, 216, 228, 232, 236, 239, 245, 246

開拓使(かいたくし) …… 143, 144, 145, 149, 156, 159

開拓者(かいたくしゃ) …… 129, 143, 149, 160, 162~167, 172~173, 194, 195, 198, 232, 239

貝塚(かいづか) …… 87

街道(かいどう) …… 160, 163, 175, 176

外来種(がいらいしゅ) …… 219

海嶺(かいれい) …… 23, 24

香川団体(かがわけんだんたい) …… 166

蠣崎氏(かきざきし) …… 137

鍵層(かぎそう) …… 21

核(かく) …… 31

加工(かこう) …… 101, 112, 140, 164

花こう岩(かこうがん: 花崗岩) …… 29, 30, 31, 201

河口閉そく(かこうへいそく) …… 209

河西郡(かさいぐん) …… 157, 159

河西支庁(かさいしちょう) …… 156, 169

河西橋(かさいばし) …… 183

火砕流(かさいりゅう) …… 32, 36~39, 40, 42

火山(かざん) …… 21, 33, 36, 38, 58, 60

火山活動(かざんかつどう) …… 23, 32, 33, 36, 38, 58~61, 73, 74

火山ガラス(かざんガラス) …… 33, 39, 75

火山灰(かざんばい) …… 21, 32, 36, 37, 39, 40, 49, 53, 55, 56, 58~61, 70, 73, 77, 117, 139, 162

火山灰地(かざんばいち) …… 61, 162, 232

火山れき(かざんれき: 火山礫) …… 39, 58

カシパンウニ …… 32, 34

かじ屋(かじや: 鍛冶屋) …… 104

梶山季之(かじやまとしゆき) …… 232

カシワ …… 64, 84, 86, 96, 114, 130, 169, 180, 218, 243

カストリウム号(カストリウムごう) …… 151

火成岩(かせいがん) …… 29

化石(かせき) …… 20, 21, 22, 25, 26~27, 28, 30, 32, 34~35, 38, 41, 43, 50~51, 62, 64, 81

河川工事(かせんこうじ)  
 … 160, 190~191, 194~195, 197,  
 206~210, ○211~213, 216, 246  
 河川敷(かせんしき)  
 … 200, 206, 211, 212,  
 219, 220, 224, 228, 229, 231, 240  
 河川敷公園(かせんしきこうえん)  
 … 219, 224~225, 240  
 河川法(かせんほう) … 205  
 カソマンテ(アイヌ語) … 144  
 刀(かたな) … 104, 133, 151  
 活火山(かつかざん・かつかざん)  
 … 38  
 学校(がっこう) … 149, 160,  
 161, 168~169, 172, 193, 230, 241  
 滑車状耳かざり(かつしゃじょう  
 みみかざり) … 99  
 活動(かつどう) … 238  
 河道掘削(かどうくっさく) … 211  
 河東郡(かとうぐん) … 157, 159  
 カナディアンカー … 226  
 カー … 221, 226, 239  
 花粉(かふん) … 21, 51, 81  
 ガマ … 130, 133, 216  
 カマ(鎌) … 104  
 鎌倉時代(かまくらじだい) … 110  
 鎌倉幕府(かまくらばくふ) … 111  
 かまど(竈) … 102, 105, 111, 112  
 神(かみ)  
 … 94, 104, 116, 118, 120, 122,  
 126, 128, 130~131, 132, 134~135,  
 136, 178, 198~200, 244, 245  
 上旭ヶ丘面(かみあさひがおかめ  
 ん) … 47, 49  
 上旭ヶ丘れき層(かみあさひがお  
 かれきそう:~礫層) … 47  
 上似平遺跡(かみいたいらいせき)  
 … 71, 76, 79  
 上川郡(かみかわぐん) … 157, 159  
 上札内I面(かみさつないいちめ  
 ん) … 49, 54, 97  
 上札内Iれき層(かみさつない  
 ちれきそう:~礫層)  
 … 47, 54~55, 57  
 上札内II a面(かみさつないにエ  
 イめん) … 49, 54, 97  
 上札内II b面(かみさつないにビ  
 ーめん) … 49, 54, 79, 85  
 上更別I面(かみさらべついちめ  
 ん) … 48, 49  
 上更別II面(かみさらべつにめん)  
 … 49  
 上更別III面(かみさらべつさんめ  
 ん) … 49  
 上更別湿原(かみさらべつしつげ  
 ん) … 63, 64  
 上士幌ウタリ文化伝承保存会  
 (かみしほろうタリぶんかでん  
 しょうぼぞんかい) … 112, 115,  
 120, 129, 130, 131, 134, 150

上士幌村(かみしほろむら) … 157  
 上士幌れき層(かみしほろれきそ  
 う:~礫層) … 54  
 上利別20遺跡(かみとしべつ20い  
 せき) … 71, 96, 99  
 神窓(かみまど) … 130, 131  
 カムイ(アイヌ語)  
 … 104, 116, 118, 120, 122,  
 126, 128, 130~131, 132, ○134~  
 135, 136, 150, 199, 244, 245  
 神威岳(かむいだけ) … 135  
 カムイチェブ(アイヌ語)  
 … 115, 118, 119, 120, 122~123  
 カムイトウウボボ保存会(カムイ  
 トウウボボぼぞんかい)  
 … 132, 150  
 カムイヌプリ(アイヌ語地名)  
 … 135  
 カムイノミ(アイヌ語) …  
 120, 128, 134, 135, 136, 150, 245  
 カムイブヤル … 130, 131  
 カムイモシリ(アイヌ語)  
 … 122, 134  
 カモクタイン … 138  
 カヤック … 226  
 樺太(からふと)  
 … 111, 113, 125, 185  
 狩り(かり) … 73, 76, 79, 80, 82, 85,  
 90, 94, 104, 112, 113, 118, 121,  
 128, 133, 138, 140, 141, 144, 145,  
 146, 148, 150, 156, 158, 163, 245  
 下流(かりゅう)  
 … 57, 65, 206, 208, 211, 217, 242  
 軽石(かるいし)  
 … 36, 37, 38, 39, 40, 42, 58, 59  
 カルデラ … 36  
 カルデラ湖 … 36  
 川合大橋(かわいおおはし)  
 … 207, 231  
 川合新水路(かわいしんすいろう)  
 … 197, 206, 231  
 川合橋(かわいばし)  
 … 206, 207, 231  
 川合村(かわいむら) … 157  
 川上けさ子(かわかみけさこ)  
 … 133, 136  
 川上英幸(かわかみひでゆき)  
 … 131, 132  
 川狩り(かわがり) … 224  
 カワシンジュ貝(カワシンジュが  
 い) … 126, 201  
 川西C遺跡(かわにしシーいせき)  
 … 71, 76, 82  
 川西村(かわにしむら) … 157  
 川に学ぶ体験活動全国協議会(か  
 わにまなぶたいけんかつどう  
 ぜんこくきょうぎかい) … 239  
 川舟(かわふね) … 160, 172,  
 175, 176, 178, 179, 184, 207, 211  
 川舟人夫(かわふねにんぶ) … 179

瓦がさね配列(かわらがさねはい  
 れつ) … 45  
 寛永の大飢饉(かんえいのだいいき  
 きん) … 103  
 かんがい(灌漑) … 195, 214  
 環境(かんきょう)  
 … 22, 25, 81, 150, 205, 209,  
 216~219, 238, 239, 242, 245  
 監獄(かんごく) … 160~161, 180  
 完新世(かんしんせい) … 20  
 勸農(かんのう) … 148, 162  
 寒のもどり(かんのもどり) … 83, 84  
 干ばつ(かんばつ) … 200  
 間氷期(かんびょうき) … 18, 50, 53  
 顔料(がんりょう) … 76, 82, 98, 235  
 ■ き ■  
 機関庫の川(きかんこのかわ)  
 … 201, 212  
 機関車(きかんしゃ) … 184, 191  
 飢饉(ききん) … 103, 147  
 危険(きけん) … 220~221, 226  
 儀式(ぎしき)  
 … 96, 98, 104, 117, 120, 128,  
 132, 134, 135, 136, 140, 144, 150  
 汽水(きすい) … 243  
 北居辺I面(きたおりべいちめん)  
 … 49  
 キツネ(狐) … 115, 169, 244, 245  
 キナ(アイヌ語) … 130  
 絹(きぬ) … 112, 136, 164  
 帰農(きのう) … 185  
 キノコ形土製品(キノコがたどせ  
 いひん) … 96  
 木の葉(きのは) … 21, 86  
 木の葉化石(きのはかせき) … 21  
 木の実(きのみ) … 85, 90, 94, 104  
 木橋(きはし) … 182~183  
 キハダ … 64, 84, 90, 114, 128  
 キビ(黍)  
 … 104~105, 163, 173, 194, 195  
 キムウントー沼(キムウントーぬ  
 ま) … 190~191  
 キムンカムイ(アイヌ語)  
 … 134, 135  
 キャンプ … 73, 76, 82, 101  
 旧帯広川(きゅうおびひろがわ)  
 … 142, 174, 246  
 旧琴似川(きゅうことのがわ) … 101  
 救助(きゅうじょ) … 239  
 旧石器時代(きゅうせつきじだい)  
 … 70, 71, 72~82, 85,  
 86, 87, 92, 99, 182, 236, 245  
 旧十勝大橋(きゅうとかちおおはし)  
 … 183  
 旧十勝川(きゅうとかちがわ)  
 … 100, 114, 126, 170,  
 171, 174, 175, 177, 188, 189,  
 190~191, 192~193, 206~207,  
 208~209, 210, 217, 221

旧利別川(きゅうとしべつがわ)  
 … 170, 171, 175,  
 177, 190~191, 206~207, 221  
 旧土人保護法(きゅうどじんほご  
 ほう) … 149, 150, 185  
 旧途別川(きゅうとべつがわ) … 126  
 旧御影川(きゅうみかげがわ) … 210  
 教育(きょういく)  
 … 149, 150, 168~169, 198  
 教育所(きょういくじょ) … 149, 168  
 共栄3遺跡(きょうえい3いせき)  
 … 71, 77, 94  
 共栄B遺跡(きょうえいBいせき)  
 … 92  
 共栄面(きょうえいめん) … 49  
 凝灰岩(ぎょうかいがん) … 32, 39  
 ギョウジャニンニク … 115, 121, 124  
 共成川(きょうせいがわ) … 201  
 恐竜(きょうりゅう) … 24~25  
 漁業(ぎょぎょう) … 93,  
 118~120, 146, 158, 174, 229, 247  
 漁場(ぎょじょう) … 140,  
 141, 145, 146, 148, 158, 159, 174  
 魚道(ぎょどう) … 195  
 漁場(ぎよば) …  
 140, 141, 145, 146, 148, 158, 159  
 清見ヶ丘公園(きよみがおかこう  
 えん) … 185, 232  
 清見二線川(きよみにせんがわ)  
 … 98  
 キリ(錐) … 86, 99  
 切りかえ(きりかえ)  
 … 188, 192, 208, 210  
 キリスト教(キリストきょう)  
 … 168, 198, 199  
 金(きん) … 137, 138, 151  
 金属器(きんぞくき)  
 … 86, 100, 104~105  
 禁漁(きんりょう)  
 … 143, 146, 147, 173, 174  
 ■ < ■  
 グイマツ … 62, 72, 81  
 空港南A遺跡(くうこうみなみエ  
 イいせき) … 71, 79  
 空襲(くうしゅう) … 185, 197  
 クサレれき(クサレ礫) … 45  
 クシ(櫛) … 96, 99  
 郡上染め(ぐじょうぞめ) … 237  
 郡上八幡(ぐじょうはちまん) … 237  
 クジラ … 21, 26~27, 34  
 釧路支庁(くしろしちょう) … 156  
 釧路線(くしろせん) … 184  
 釧路国(くしろのくに)  
 … 156, 157, 159  
 九頭竜川(くずりゅうがわ)  
 … 165, 200  
 口伝え(くちづたえ) … 132  
 屈斜路一羽幌火山灰(くつしゃろ  
 ーはぼろかざんばい) … 61

第1章 十勝の平野と川がでる町

第2章 先史時代と川

第3章 アイヌ文化と川

第4章 十勝開拓と川

第5章 発展、今、そして未来へ

用語

おわりに

屈葬(くつそう) ..... 98  
 クッタラ火山灰(クッタラかざんばい) ..... 49, 56, 61  
 倶多楽湖(くつたらこ) ..... 61  
 屈足の大露頭(くつたりのだいろう) ..... 37  
 屈足村(くつたりむら) ..... 157  
 クテウシ(アイヌ語地名) ..... 127  
 クテクウシ川 ..... 127  
 クナシリ(アイヌ語地名: 国後島) ..... 64, 80, 84, 113, 137, 140~141, 142, 143, 156  
 クナシリ・メナシアイヌの戦い(クナシリ・メナシアイヌのたたかい) ..... 140~141  
 国見山(くにみやま) ..... 41~43, 46, 47  
 首かざり(くびかざり: 首飾り) ..... 99, 136  
 久保栄(くぼさかえ) ..... 232  
 クマ(熊) ..... 84~85, 104, 130~131, 134, 136, 141, 201, 245  
 熊追川(くまおいがわ) ..... 201  
 熊泣川(くまなきがわ) ..... 201  
 グラウンド ..... 211, 225, 241  
 クラプレート ..... 24  
 栗山常次郎(くりやまつねじろう) ..... 182  
 栗山橋(くりやまばし) ..... 182, 187  
 クルミ ..... 64, 84, 90, 114, 172, 180  
 グレッシュャーミルク ..... 52  
 黒雲母(くろうんも) ..... 29  
 クロスラミナ ..... 43  
 黒ボク土(くろボクド) ..... 61  
 くんせい(燻製) ..... 101, 122, 130, 147  
 熱祓別川(くねべつがわ) ..... 180  
 軍馬(ぐんば) ..... 196

■ け ■

刑務所(けいむしょ) ..... 160, 180, 190  
 毛皮(けがわ) ..... 90, 99, 112, 121, 134, 136, 141, 145, 151, 158~159, 163  
 ケショウヤナギ ..... 64, 218  
 下水(げすい) ..... 215, 241  
 結晶(けっしょう) ..... 29, 33  
 珧状耳かざり(けつじょうみみかざり: ~耳飾り) ..... 94, 95, 98, 99  
 気屯川(けとんがわ) ..... 30  
 元(げん) ..... 110~111  
 玄関(げんかん) ..... 101, 130~131, 159  
 元寇(げんこう) ..... 111  
 源氏(げんじ・みなもとし) ..... 111  
 元素(げんそ) ..... 22

■ こ ■

コア ..... 31

コイ(鯉) ..... 237  
 五尾川(ごいがわ) ..... 201  
 五位団体・伍位団体(ごいだんたい) ..... 166, 167, 201  
 交易(こうえき) ..... 110, 111, 112, 121, 128, 133, 136, 137, 138, 139, 140, 141, 156, 158, 159, 163, 246  
 交易支配(こうえきしはい) ..... 137, 138, 140  
 公園(こうえん) ..... 211, 219, 224, 238  
 校歌(こうか) ..... 230~231  
 工業(こうぎょう) ..... 180, 214, 215  
 工業用水(こうぎょうようすい) ..... 214, 215  
 口琴(こうきん) ..... 133  
 黄砂(こうさ) ..... 61  
 工事(こうじ) ..... 39, 160, 184, 190~191, 194~195, 196, 197, 206~210, 211~213, 216, 246  
 口承(こうしょう) ..... 132, 151  
 工場(こうじょう) ..... 164, 174, 180, 201, 214, 215, 246  
 更新世(こうしんせい) ..... 20  
 洪水(こうずい) ..... 46, 49, 65, 76, 85, 114, 126, 165, 170, 172, 175, 176, 179, 182, 183, 186~193, 195, 200, 206~213, 215, 216, 217, 218, 220, 224, 228, 229, 238, 239, 240, 243, 246  
 光地園(こうちえん) ..... 45, 47  
 光地園面(こうちえんめん) ..... 47, 48, 49  
 光地園れき層(こうちえんれきそう: ~礫層) ..... 45, 46, 47, 48  
 後氷期(こうひょうき) ..... 18  
 興復社(こうふくしゃ) ..... 165, 166, 167  
 鉱物(こうぶつ) ..... 29, 33, 59  
 広葉樹(こうようじゅ) ..... 84, 114  
 コウライテンナンショウ ..... 121  
 小刀(こがたな) ..... 133  
 護岸(ごがん) ..... 212, 221  
 黒印状(くくいんじょう) ..... 137  
 国郡制(こくぐんせい) ..... 156~157  
 国道渡船(こくどうとせん) ..... 176  
 黒曜石(こくようせき) ..... 33, 74~75, 76, 78, 97, 98, 101, 160, 182  
 黒曜石石器(こくようせきせっき) ..... 74~75, 76, 77, 78~79, 80~81, 83, 86, 92, 182  
 コクワ(サルナシ) ..... 90, 173, 231  
 ゴザ ..... 130, 133, 151  
 古砂丘(こさきゅう) ..... 60, 61, 73  
 小作(こさく) ..... 146, 149, 163, 165, 166, 167, 168, 185, 198, 232  
 小作者(こさくしゃ) ..... 185, 198  
 小作人(こさくにん) ..... 146, 149, 163, 165, 166, 167, 232

コシヤマイ ..... 113, 137  
 コシヤマイの戦い(コシヤマイのたたかい) ..... 113, 137  
 五十石舟(ごじゅうこくぶね) ..... 175, 179  
 小瀬ヶ沢洞窟遺跡(こせがさわど うくつせいせき) ..... 83  
 古第三紀(こだいさんき) ..... 20  
 小駄良川(こだらがわ) ..... 237  
 コタン(アイヌ語) ..... 113, 126, 128, 130, 132, 140, 141, 148, 150, 151, 245  
 戸長役場(こちょうやくば) ..... 143, 146, 157, 159  
 骨角器(こつかくき) ..... 73, 75, 79, 87, 93, 100, 104, 121  
 子どもの水辺(こどものみずべ) ..... 239  
 木の葉(このは) ..... 21, 86  
 木の葉化石(このはかせき) ..... 21  
 木の実(このみ) ..... 85, 90, 94, 104  
 小林遺跡(こばやしせいせき) ..... 71, 94, 95, 98, 99  
 昆布刈石(こぶかりいし) ..... 136  
 古墳時代(こふんじだい) ..... 102, 105  
 駒ヶ岳(こまがたけ) ..... 61, 139  
 駒ヶ岳火山灰(こまがたけかざんばい) ..... 61  
 ごま塩(ごましお: 胡麻塩)=恵庭火山灰(えにわかざんばい) ..... 59, 73  
 ゴミ ..... 225, 235, 238, 247  
 コムニ(アイヌ語) ..... 130  
 米(こめ) ..... 100, 101, 136, 137, 138, 143, 146, 147, 164, 169, 173, 187, 194~195, 219, 241  
 コンクリート ..... 57, 182~183, 194, 212, 221  
 コンクリート橋(コンクリートきょう) ..... 182~183  
 昆虫・虫(こんちゅう・むし) ..... 40~41, 51, 243  
 コンブ(昆布) ..... 112, 136, 141, 146, 158  
 コンブ・カルウシ(アイヌ語地名) ..... 136  
 コンブ小屋(コンブごや) ..... 158

■ さ ■

最終氷期(さいしゅうひょうき) ..... 18, 52, 62, 64, 72  
 細石刃(さいせきじん) ..... 74, 78~79, 80, 81  
 細石刃核(さいせきじんかく) ..... 79, 81  
 祭だん(さいだん: 祭壇) ..... 131, 133, 134  
 栽培漁業(さいばいぎょぎょう) ..... 236, 246  
 材木(ざいもく) ..... 141

「サイロ物語」(サイロものがたり) ..... 232  
 魚釣り(さかなつり) ..... 100, 101, 173, 222  
 坂上田村麻呂(さかのうえのたむらまろ) ..... 110  
 坂本直行(さかもとなおゆき・さかもとちよっこう) ..... 233  
 砂岩(さがん) ..... 29, 33  
 砂丘(さきゅう) ..... 58, 60, 61  
 「砂金帯」(さきんたい) ..... 233  
 サクラマス ..... 119  
 サケ(鮭) ..... 72, 90, 92, 93, 101, 114~115, 118, 119, 120, 122~125, 135, 136, 138, 141, 143, 146~147, 148, 173, 174, 229, 236, 238, 243~247  
 サケ皮のくつ(サケがわのくつ) ..... 122, 125, 236  
 サコロベ(アイヌ語) ..... 132  
 削器(さつき) ..... 79  
 サツчев(アイヌ語) ..... 122  
 サツナイ(アイヌ語地名) ..... 127, 201, 240  
 札内K遺跡(さつないケイせいせき) ..... 97  
 札内N遺跡(さつないエヌせいせき) ..... 71, 80, 81, 96, 97, 98, 241  
 札内川(さつないがわ) ..... 29, 45, 52, 54, 55, 57, 65, 96~97, 116, 127, 171, 177, 182, 187, 201, 206, 212, 213, 214, 215, 217, 218, 219, 220, 221, 224, 225, 226, 229, 230, 232, 234, 239, 240, 241, 242, 247  
 札内川ダム(さつないがわダム) ..... 213, 215  
 札内川頭首工(さつないがわとうしゅこう) ..... 214  
 札内川発電所(さつないがわはつでんしょ) ..... 215  
 札内橋(さつないばし) ..... 182  
 札幌県(さっぽろけん) ..... 143, 146, 147, 148, 149, 156  
 擦文(さつもん) ..... 102  
 擦文時代(さつもんじだい) ..... 71, 82, 101, 102~105, 112, 245  
 擦文文化(さつもんぶんか) ..... 102~105, 110, 111, 112, 113, 136  
 佐藤権左衛門(さとうごんざえもん) ..... 139  
 佐藤春夫(さとうはるお) ..... 233  
 砂漠(さばく) ..... 58, 60, 61, 64, 73  
 サハリン ..... 24, 27, 30, 62, 64, 72, 80, 92, 99, 101, 102, 103, 105, 111, 112, 113, 125, 136, 142, 185  
 砂防えん堤(さぼうえんてい) ..... 213  
 佐幌川(さほろがわ) ..... 177, 180, 215

様舞小学校(さままいしょうがっこう) …… 169, 173  
 様舞尋常小学校(さままいじんじょうしょうがっこう) …… 173  
 様舞分教場(さままいぶんきょうじょう) …… 169  
 サメ …… 34, 141  
 サラベツ川 …… 57, 127  
 ザリガニ …… 219  
 サルキ(アイヌ語) …… 130  
 サルナシ(コクウ) …… 90, 173, 231  
 サルベツ(アイヌ語地名) …… 127  
 猿別川(さるべつがわ) …… 32, 39, 57, 126, 127, 177, 184  
 猿別タフ(さるべつたふ) …… 32, 39  
 サロルンカムイ(アイヌ語) …… 141, 216  
 三角小屋(さんかくごや) …… 167  
 三県一局時代(さんけんいっきょくじだい) …… 156  
 産物(さんぶつ) …… 110, 112, 138, 141, 158, 179  
 三平汁(さんぺいじる) …… 124  
 山脈(さんみゃく) …… 23  
 産卵(さんらん) …… 114, 118, 146, 173, 174, 217, 229, 236, 238, 243, 244, 245, 246, 247  
 産卵床(さんらんしょう) …… 229

■ し ■

シイ十勝川(シイとかちがわ) …… 230  
 シカ(鹿) …… 62, 75, 84, 85, 94, 114, 115, 117, 121, 136, 141, 145, 146, 148, 158~159, 163  
 鹿追村(しかおいむら) …… 157  
 しかけ弓(しかけゆみ) …… 121, 145  
 然別川(しかりべつがわ) …… 42, 177, 180, 201, 215  
 然別湖(しかりべつこ) …… 200, 215  
 シキナ(アイヌ語) …… 130, 133  
 支笏 I 火山灰(しこついちかざんばい) …… 49  
 支笏火山灰(しこつかざんばい) …… 49, 53, 55, 56, 58~61, 82  
 支笏湖(しこつこ) …… 53, 55, 58, 59, 60, 61, 73  
 歯根(しこん) …… 51  
 自作農(じさくのう) …… 164, 165, 167, 185  
 シヤマモ …… 119, 123, 173, 243, 244  
 ししゅう(刺繍) …… 113, 133  
 示準化石(しじゅんかせき) …… 22  
 地震(じしん) …… 23, 165  
 静岡藩(しずおかはん) …… 143  
 静内(しずない) …… 138~139  
 自然産卵(しぜんさんらん) …… 236, 238, 246  
 自然堤防(しぜんていぼう) …… 83  
 シソ(紫蘇) …… 104, 105

示相化石(しそうかせき) …… 22, 43  
 歯帯(したい) …… 27  
 下頃遺跡(したころべいせき) …… 71, 93  
 下頃辺川(したころべがわ) …… 209, 228  
 湿原(しつげん) …… 25, 32, 36, 40~43, 44, 50, 63, 64, 81, 114, 216  
 湿地(しっち) …… 63, 84, 87, 94, 96, 172, 185, 190, 209, 216, 229, 247  
 シットク(アイヌ語地名) …… 127  
 地主(じぬし) …… 149, 164, 185  
 支配(しはい) …… 110, 111, 113, 137, 138, 140, 142, 143, 145, 156, 246  
 支配商(しはいしょう) …… 140, 145, 146  
 渋(しぶ) …… 180  
 シブサラビバウシ川 …… 41  
 渋山層(しぶさんそう) …… 42, 43  
 渋山盆地(しぶさんぼんち) …… 40, 42  
 シベチャリ(アイヌ語地名) …… 138~139  
 シベチャリチャシ跡(シベチャリチャシあと) …… 139  
 シベリア …… 53, 62, 72~73, 92, 142  
 シベリア大陸(シベリアたいりく) …… 62, 72  
 洞寒村(しほさむむら) …… 157, 163, 164, 175, 196  
 士幌川(しほろがわ) …… 36, 56, 74, 126, 127, 177, 194, 230  
 士幌村(しほろむら) …… 157, 197  
 嶋木遺跡(しまきいせき) …… 71, 77  
 清水村(しみずむら) …… 157  
 しめ切り(しめきり) …… 207, 208  
 下帯広村(しもおびひろむら) …… 147, 157, 158  
 下利別尋常小学校(しもとしべつじんじょうしょうがっこう) …… 161  
 ジャガイモ …… 124, 125, 173, 194, 195, 215  
 シャクシャイン …… 138~139  
 シャクシャイン記念館(シャクシャインきねんかん) …… 139  
 シャクシャインの戦い(シャクシャインのたたかい) …… 138~139, 140  
 斜交ラミナ(しゃこうラミナ) …… 43  
 写真(しゃしん) …… 234  
 住居・住宅(じゅうきょ・じゅうたく) …… 73, 82, 85, 90, 91, 94, 98, 100, 101, 102, 103, 105, 111, 112, 130, 131, 134, 142, 149, 159, 162, 166, 167, 170, 171, 172, 181, 199, 210, 211, 213, 216, 218, 228, 229, 246, 247  
 宗教(しゅうきょう) …… 168, 198~199  
 集治監(しゅうじかん) …… 160  
 銃床(じゅうしょう) …… 180  
 十の沢カール(じゅうのさわカール) …… 52

集落(しゅうらく) …… 82, 85, 90~91, 102~103, 104~105, 113, 126, 128, 130, 132, 140, 150  
 受刑者(じゅけいしや) …… 160~161, 180, 190  
 手工芸(しゅこうげい) …… 133, 150  
 シュホロベツ(アイヌ語地名) …… 127  
 ジュラ紀(ジュラキ) …… 25  
 ジュラシック …… 25  
 しゅんせつ(浚渫) …… 207, 211  
 小画(しょうかく) …… 166  
 浄化施設(じょうかしせつ) …… 215  
 蒸気機関車(じょうききかんしゃ) …… 184, 191  
 将棋たおし(しょうぎたおし) …… 45  
 城柵(じょうさく) …… 110  
 上昇(じょうしょう) …… 28, 34, 40, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 54  
 浄水場(じょうすいじょう) …… 214  
 上水道(じょうすいどう) …… 214, 241  
 上徳善七(じょうとくぜんしち) …… 129, 143, 158, 186, 187  
 商人(しょうにん) …… 137, 140~141, 145, 146, 158, 160, 163, 179  
 小氷期(しょうひょうき) …… 103, 139  
 縄文(じょうもん) …… 86, 88, 97, 102, 104  
 縄文海進(じょうもんかいしん) …… 64, 84, 93, 94  
 縄文時代(じょうもんじだい) …… 71, 74, 79, 82, 83, 84~99, 102, 129, 236, 245  
 縄文文化(じょうもんぶんか) …… 64, 83~99  
 じょう乱(じょうらん:擾乱) …… 61  
 上流(じょうりゅう) …… 46, 49, 54, 56, 57, 65, 148, 217  
 植生図(しょくせいず) …… 115  
 殖民地(しょくみんち) …… 149, 162, 163, 166  
 シラカバ(白樺) …… 84, 96, 100  
 シラカンバ …… 84, 96, 100  
 白子(しらこ) …… 123, 124  
 白滝(しらたき) …… 74, 78  
 白糠丘陵(しらぬかきゅうりょう) …… 28, 32, 34  
 知内町(しりうちょう) …… 74  
 清(しん) …… 142, 163  
 信仰(しんこう) …… 94~95, 134~135, 198~200  
 人工ふ化(じんこうふか) …… 174, 229, 236, 246, 247  
 シンコチャシ …… 116, 181  
 神社(じんじや) …… 97, 158, 198, 200  
 浸食(しんしょく:川の力) …… 65  
 浸水想定区域図(しんすいそうていくいきず) …… 220  
 新水路(しんすいろ) …… 170, 190~193, 194, 195, 197, 206~207, 211, 216, 231

深成岩(しんせいがん) …… 24, 28, 29  
 新生代(しんせいだい) …… 25  
 新第三紀(しんだいさんき) …… 20  
 神道(しんとう) …… 199  
 シントコ(アイヌ語) …… 136, 151  
 陣羽織(じんばおり) …… 136  
 針葉樹(しんようじゅ) …… 80, 84, 96  
 新吉野台細石器遺跡(しんよしのだいさいせつきいせき) …… 71, 92

■ す ■

水害(すいがい) …… 148, 165, 172, 186~187, 191, 192, 193, 211, 216, 220, 229, 238  
 水神(すいじん) …… 199, 200  
 スイス …… 52  
 水制(すいせい) …… 207, 208, 212  
 水田(すいでん) …… 100, 101, 164, 173, 194, 214, 241  
 水道(すいどう) …… 214, 241, 246  
 水道水(すいどうすい) …… 135, 214, 241  
 水道用水(すいどうようすい) …… 214  
 水難(すいなん) …… 221  
 水防団(すいぼうだん) …… 238  
 水力発電(すいりょくはつでん) …… 215, 241  
 須恵器(すえき) …… 104, 105  
 スサム(アイヌ語) …… 119, 123  
 筋子(すじこ) …… 123  
 ススキ …… 130  
 鈴木銃太郎(すずきじゅうたろう) …… 143, 147, 233  
 「鈴木銃太郎日記」(すずきじゅうたろうにっき) …… 233  
 スタンプ …… 86, 96  
 捨てる場所(すてるばしょ) …… 94~95  
 栖原角兵衛(すはらかくべえ) …… 140  
 スポーツ …… 211, 225, 226, 239, 240  
 スポーツグラウンド …… 211, 225  
 スポロ(アイヌ語地名) …… 127  
 炭(すみ) …… 38, 41, 43, 81, 105, 180  
 すり石(すりいし) …… 82, 85, 90  
 スルク(アイヌ語) …… 115, 121, 145  
 スンク(アイヌ語) …… 128

■ せ ■

セイウチ …… 34  
 聖牛(せいぎゅう) …… 212  
 生剛(せいごう) …… 157  
 製紙(せいし) …… 161, 180  
 生態系(せいたいけい) …… 228, 245  
 セイヨウタンポポ …… 219  
 勢雄遺跡(せおいせき) …… 71, 77  
 セオトバイ川 …… 127  
 せき(堰) …… 194, 195, 214, 215  
 石英(せきえい) …… 29  
 石核(せきかく) …… 79  
 関寛斎(せきかんさい) …… 233

第1章 十勝の平野と川がでる町

第2章 先史時代と川

第3章 アイヌ文化と川

第4章 十勝開拓と川

第5章 発展、今、そして未来へ

用語

おわりに

潟湖(せきこ) ..... 40  
 赤色チャート(せきしよくチャート) ..... 25  
 石刃(せきじん) ..... 76, 92  
 石刃鏃(せきじんぞく) ..... 92  
 石錘(せきすい) ..... 90, 93  
 石炭(せきたん) ..... 21, 25, 43  
 関根沢川(せきねざわがわ) ... 201  
 石油庫(せきゆこ) ..... 160  
 関寛(せきゆたか) ..... 233  
 石器(せつき)  
 ..... 70, 72~83, 86, 90, 91, 92, 93, 94, 95, 98, 99, 100, 104, 136, 182 (石器づくり ... 75)  
 絶対年代(ぜつたいねんだい) ... 22  
 絶めつ(ぜつめつ:絶滅)  
 ... 22, 24, 25, 145, 216, 218, 229  
 瀬戸内晴美(せとうちはるみ) ... 232  
 せんい(繊維)  
 ..... 99, 103, 133, 136, 141  
 戦後(せんご) ... 149, 185, 197, 206  
 戦後開拓(せんごかいたく) ... 185  
 扇状地(せんじょうち) ..... 44, 46, 47, 48, 54, 57, 61, 64, 241, 242  
 扇状地面(せんじょうちめん)  
 ..... 46~47, 48, 49, 54  
 鮮新世(せんしんせい) ..... 20  
 漸新世(ぜんしんせい) ..... 20  
 戦争(せんそう)  
 ... 149, 163, 185, 196~197, 206  
 船頭(せんどう) ..... 179

■ そ ■

象(ぞう) ... 50~51, 62, 64, 72, 73  
 装身具(そうしんぐ) ..... 99  
 増水(ぞうすい)  
 ..... 179, 182, 193, 206, 220, 231  
 相對年代(そうたいねんだい) ... 22  
 宗谷海峡(そうやかいきょう) ..... 62  
 続縄文時代(ぞくじょうもんじだい)  
 ..... 71, 74, 82, 86, 87, 100~101  
 続縄文文化(ぞくじょうもんぶんか)  
 ..... 100~101, 111  
 東柱類(そくちゅうり)  
 ..... 26~27, 28, 30, 31  
 粗朶(そだ) ..... 207, 208  
 ソバ(蕎麥)  
 ..... 100, 147, 173, 194, 195  
 ソパウス ..... 151

■ た ■

第2次世界大戦(だいじせかいたいせん) ..... 196  
 台石(だいいし) ..... 85, 90  
 タイキウシ(アイヌ語地名) ... 127  
 大樹村(たいきむら) ..... 157, 197  
 大樹面(たいきめん) ..... 49  
 第三紀(だいさんき) ..... 20, 25  
 大正3遺跡(たいしょう3いせき)  
 ..... 83, 87

大正8遺跡(たいしょう8いせき)  
 ..... 98  
 大正遺跡(たいしょういせき)  
 ..... 71, 83, 87, 92, 98  
 大正村(たいしょうむら) ... 157, 197  
 大豆(だいず) ..... 163, 165  
 大成遺跡(たいせいいせき)  
 ..... 71, 76  
 堆積(たいせき・川の力) ..... 65  
 堆積岩(たいせきがん)  
 ..... 29, 33, 242  
 太平洋戦争(たいへいようせんそう) ..... 149, 185, 196~197  
 太平洋プレート(たいへいようプレート) ..... 24, 28  
 第四紀(だいよんき) ..... 20  
 平氏(たいらし・へいし) ..... 111  
 大陸(たいりく) ..... 62, 72, 92, 99, 102, 104, 112, 133, 136, 196  
 タウシュベツ川 ..... 33  
 タカ(鷹) ... 110, 136, 137, 138, 141  
 高木1遺跡(たかぎ1いせき)  
 ..... 71, 93  
 高島農場(たかしまのうじょう)  
 ..... 166, 172  
 タカハシホタテ ..... 22, 32, 33  
 滝の不動(たきのふどう) ..... 200  
 たき火(たきび)  
 ..... 70, 76, 81, 82, 89, 90, 96  
 「拓聖依田勉三傳」(たくせいよだべんぞうでん) ..... 233  
 拓北面(たくほくめん) ..... 47, 49  
 武田菊平(たけだきくへい)  
 ..... 158, 159  
 武田信広(たけだのぶひろ)  
 ..... 113, 137  
 蛇行(だこう)  
 ..... 114, 170, 188, 190, 210, 217  
 タタール海峡(タタールかいきょう)  
 =間宮海峡(まみやかいきょう)  
 ..... 62  
 戦い(たたかい) ..... 110, 111, 113, 132, 137, 138~139, 141, 142, 163, 185, 196~197, 206  
 たたき石(たたきいし) ..... 90  
 館(たて) ..... 113  
 竪穴式住居(たてあなしきじゅうきょ) ..... 70, 85, 90, 91, 94, 100, 101, 102, 103, 111, 112  
 タトゥー ..... 99  
 田所武(たどころたけし) ..... 233  
 谷氷河(たにひょうが) ..... 53  
 タネ(種) ..... 41, 51, 105  
 タフ ..... 32, 39  
 玉(たま) ..... 99, 100, 112, 136  
 卵(たまご) ..... 122, 174, 217, 229, 236, 243, 246  
 タマサイ(アイヌ語) ..... 136  
 だまし討ち(だましうち) ..... 139  
 タマネギ ..... 124, 159

ダム ..... 213, 214, 215  
 タモ網(たもあみ) ... 93, 119, 173  
 多目的ダム(たもくてきダム) ... 213  
 田安家(たやすけ) ..... 143  
 樽前d火山灰(たるまえディーかざんばい) ..... 49  
 樽前火山灰(たるまえかざんばい)  
 ..... 49, 56, 60, 61, 82, 139  
 樽前山(たるまえさん)  
 ..... 56, 60, 61, 82, 139  
 暖温帯(だんおんたい) ..... 22  
 段丘(だんきゅう) ..... 46~49, 54~57, 59, 61, 65, 70, 73, 79, 82, 94, 95, 96, 97, 114, 240, 242, 243  
 段丘崖(だんきゅうががい) ..... 47  
 段丘面(だんきゅうめん)  
 ..... 46~49, 54, 56, 60, 97  
 炭鉱(たんこう) ..... 25  
 単細胞生物・動物(たんさいぼうせいぶつ・どうぶつ) ..... 32, 34, 35  
 炭酸カルシウム(たんさんカルシウム) ..... 29, 31, 33  
 炭素(たんそ: C) ..... 22, 83  
 断層(だんそう) ..... 24  
 団体(だんたい) ..... 150, 166~167, 188, 198, 201, 239  
 団体移住(だんたいいじゅう)  
 ..... 166, 198  
 団規規約(だんたいきやく) ... 167  
 団体入植(だんたいにゅうしょく)  
 ..... 166, 198  
 タンチョウ ..... 114, 141, 216  
 短刀(たんとう) ..... 104, 133  
 タンニン ..... 180  
 タンネイソ(アイヌ語地名) ... 141  
 タンポポ ..... 219, 227

■ ち ■

チウルイトーブイ(アイヌ語地名)  
 ..... 127  
 チエオタ(アイヌ語地名) ..... 158  
 蝶多(チエオタ) ..... 158, 159  
 チェブ(アイヌ語) ..... 118, 135  
 チェブオハウ(アイヌ語)  
 ..... 122, 123, 124  
 チェブケリ(アイヌ語)  
 ..... 122, 125, 236  
 地殻(ちかく) ..... 31  
 地下水(ちかすい)  
 ..... 29, 31, 33, 240, 244  
 稚魚(ちぎょ) ..... 174, 236, 238  
 畜産(ちくさん) ..... 163  
 地形図(ちけいず) ..... 189  
 千島海溝(ちしまかいこう) ... 28  
 千島列島(ちしまれつとう)  
 ..... 28, 103, 105, 113, 142  
 治水(ちすい) ... 205, 211~213, 216  
 治水工事(ちすいこうじ) ... 190~195, 197, 206~210, 211~213, 216  
 治水ダム(ちすいだむ) ..... 213

治水の杜(ちすいのもり) ..... 228  
 チセ(アイヌ語)  
 ..... 112, 130~131, 134, 142, 149  
 地層(ちそう) ..... 20~22, 25, 31, 33, 35, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 45, 49, 51, 55, 56, 58, 59, 60, 61, 70, 77, 82, 83, 240  
 地層累重の法則(ちそうるいじゅうのほうそく) ..... 20  
 チタタブ(アイヌ語)  
 ..... 122, 123, 124  
 チタルペ(アイヌ語) ..... 133, 151  
 チチワ ..... 222, 223  
 千歳川(ちとせがわ) ..... 101  
 「地の果まで」(ちのはてまで) ... 232  
 チッ(アイヌ語) ... 119, 120, 128~129, 142, 143, 151, 159, 175, 179  
 チポロ(アイヌ語) ..... 122, 125  
 チポロウシモ(アイヌ語)  
 ..... 122, 123, 125  
 チポロケソ(アイヌ語) ..... 119  
 チポロシト(アイヌ語) ... 122, 125  
 地名(ちめい) ..... 127, 167, 201  
 チャシ(アイヌ語) ... 116~117, 139  
 チャシコツ(アイヌ語) ..... 116  
 チャランケ(アイヌ語) ... 116, 132  
 チャンラロ ..... 149  
 中画(ちゅうかく) ..... 166  
 柱状節理(ちゅうじょうせつり)  
 ..... 37  
 中新世(ちゅうしんせい) ..... 20  
 中生代(ちゅうせいだい) ..... 25  
 中流(ちゅうりゅう) ..... 57, 65  
 忠類ナウマン象記念館(ちゅうるいナウマンぞうきねんかん)  
 ..... 50~51, 62  
 忠類村(ちゅうるいむら)  
 ..... 50~51, 157  
 忠類面(ちゅうるいめん) ..... 49  
 彫器(ちようき) ..... 79  
 チョウザメ ..... 93, 118, 246  
 長石(ちようせき) ..... 29  
 蝶多(ちようた) ..... 158, 159  
 長節沼・長節湖(ちようぶしぬま・ちようぶしこ) ..... 177, 233  
 徴兵(ちようへい) ..... 196  
 直線的(ちよくせんてき) ... 190, 191  
 直別川(ちよくべつがわ) ..... 177  
 千代田堰堤(ちよだえんてい)  
 ..... 194~195, 236  
 千代田新水路(ちよだしんすいろ)  
 ..... 195  
 チライ(アイヌ語)  
 ..... 115, 118, 119, 247  
 チライムン(アイヌ語) ..... 115  
 チロンノブ(アイヌ語) ..... 115

■ つ ■

樺野四男吉(つがのよもきち) ... 148  
 津軽海峡(つがるかいきょう) ... 62

角(つの)…………… 73, 75, 78, 79, 80, 87, 100, 104, 121, 159  
 「妻たち」(つまたち) …… 232  
 釣り(つり) …… 100, 101, 173, 222~223, 238  
 ツル(鶴) …… 141, 216  
 ツンドラ …… 62

■ て ■

停車場(ていしゃば) …… 184  
 泥炭(でいたん) …… 25, 40~41, 43, 50, 81  
 堤防(ていぼう) …… 37, 83, 95, 114, 170, 183, 186, 191, 192, 193, 206, 207, 208, 210, 211, 213, 220, 224, 228, 231, 240  
 ティ(アイヌ語) …… 119  
 デスマスチルス …… 26, 27, 28, 30, 31  
 鉄(てつ) …… 100, 104, 105, 110, 112, 121, 130, 136  
 鉄器(てつき) …… 100, 104, 121  
 鉄製品(てつせいひん) …… 100, 104, 105, 110, 112, 136  
 鉄道(てつどう) …… 160, 169, 181, 184  
 鉄砲(てっぽう) …… 139, 141, 146, 180  
 寺(てら) …… 168, 169, 198  
 寺子屋(てらこや) …… 168, 169, 198  
 電気(でんき) …… 213, 214, 215, 241, 246  
 伝説(でんせつ) …… 116, 129, 132, 150  
 テント …… 73  
 転ぶく(てんぶく) …… 176, 182  
 でんぷん(澱粉) …… 121, 215  
 でんぷん工場(でんぷんこうじょう) …… 215

■ と ■

トゥイタク(アイヌ語) …… 132, 150  
 トウカフチ(アイヌ語地名) …… 127  
 トウキ(アイヌ語) …… 136  
 トウシベツ(アイヌ語地名) …… 127, 201  
 トウシベツブツ(アイヌ語地名) …… 170  
 頭首工(とうしゅこう) …… 214  
 凍上抑制層(とうじょうよくせいそう) …… 39  
 刀子(とうす) …… 104  
 導水路(どうすいろ) …… 209  
 東泉園(とうせんえん) …… 112, 115, 120, 121, 125, 128, 129, 130~131, 132~133, 134, 135, 136, 149, 150, 236, 245  
 東台小学校(とうだいしょうがっこう) …… 169  
 道庁(どうちょう) …… 143, 163, 174

統内新水路(とうないしんすいろ) …… 177, 190~193, 194, 197, 206, 207, 211  
 道南(どうなん) …… 100, 113, 136, 137, 156  
 当縁郡(とうぶいぐん) …… 157, 159  
 動物形土製品(どうぶつがたどせいひん) …… 96  
 当縁川(とうべりがわ) …… 48, 127, 177  
 トウモロコシ …… 159, 173, 194  
 洞爺火山灰(とうやかざんばい) …… 61  
 洞爺湖(とうやこ) …… 36  
 トウレブ(アイヌ語) …… 115, 121  
 トウレブアカム(アイヌ語) …… 121  
 道路(どうろ) …… 39, 160, 169, 175  
 灯ろう流し(とうろうながし) …… 200  
 土運車(どうんしゃ) …… 191  
 十日川(とかがわ) …… 173, 195, 228  
 トーブイ(アイヌ語地名) …… 127  
 トカチ(アイヌ語地名:十勝太〔とかちぶと〕) …… 140  
 十勝石(とかちいし) …… 33, 74, 160  
 十勝大橋(とかちおおはし) …… 44, 176, 182, 183  
 十勝河口橋(とかちかこうきょう) …… 176  
 十勝川(とかがわ) …… 36, 37, 40, 42, 44, 46, 48, 65, 76, 78, 90, 93, 94, 95, 96~97, 98, 100, 102, 104, 116, 126, 127, 129, 142, 143, 146, 147, 148, 160, 161, 170~171, 173, 175, 176, 177, 179, 180, 182~183, 184, 185, 186~187, 188, 189, 190~191, 192~193, 194~195, 200, 206, 207, 208~209, 210, 211, 212, 213, 214, 215, 216, 217, 220, 221, 224, 225, 226, 228, 230, 231, 232, 234, 239, 240, 242, 243  
 十勝川温泉(とかがわおんせん) …… 43, 232  
 十勝川温泉 1 遺跡(とかがわおんせん 1 いせき) …… 71, 94, 99  
 十勝川温泉チャシ跡(とかがわおんせんチャシあと) …… 116  
 十勝監獄(とかちかんどく) …… 160~161, 180  
 十勝漁業組合(とかちぎょぎょうくみあい) …… 174  
 十勝空襲(とかちくうしゅう) …… 197  
 十勝組合(とかちくみあい) …… 145, 146, 149, 158, 174  
 十勝郡(とかちぐん) …… 157, 159  
 十勝鮭鱒孵化場(とかちさけますふかじょう) …… 174  
 十勝支庁(とかちしちょう) …… 156, 169

十勝線(とかちせん) …… 184  
 十勝岳(とかちだけ) …… 38  
 十勝ダム(とかちダム) …… 213, 215  
 十勝団体研究会(とかちだんたいけんきゅうかい) …… 50  
 十勝頭首工(とかちとうしゅこう) …… 214  
 十勝の川アートコンテスト(とかちのかわアートコンテスト) …… 234  
 十勝国(とかちのくに) …… 156, 157, 159  
 トカチ場所(トカチばしょ) …… 137, 140, 141, 146, 158, 159  
 十勝発電所(とかちはつでんしよ) …… 215  
 十勝ふ化場(とかちふかじょう) …… 174  
 トカチブト(アイヌ語地名) …… 170, 208  
 十勝太古川遺跡(とかちぶとふるかわいせき) …… 71, 102, 103, 104  
 十勝太若月遺跡(とかちぶとわかつきいせき) …… 71, 100, 104~105  
 十勝分監(とかちぶんかん) …… 160~161, 180  
 十勝坊主(とかちぼうず) …… 84, 96  
 十勝外四郡鱒鱒養殖組合(とかちほかよんぐんさけますようしよくくみあい) …… 174  
 十勝三股(とかちみつまた) …… 33, 36, 39, 74, 78  
 トカフチ(アイヌ語地名) …… 127  
 土器(どき) …… 70, 72, 82, 83, 85, 86, 87, 88~89, 90, 91, 92, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100, 101, 102, 103, 104, 105, 111, 112, 136 (土器づくり …… 88~89)  
 時田則雄(ときたのりお) …… 233  
 土偶(どぐう) …… 94, 95, 97  
 徳島団体(とくしまだんたい) …… 166  
 徳富蘆花(とくとみろか) …… 233  
 毒矢(どくや) …… 121, 139, 145  
 トゲウオ …… 217  
 利別川(としべつがわ) …… 96, 98, 100, 102, 116~117, 127, 148, 170, 173, 175, 177, 180~181, 186, 187, 197, 201, 206~207, 208, 213, 215, 220, 225, 231, 239  
 利別尋常高等小学校(としべつじんじょうこうとうしょうがっこう) …… 169  
 トシベツブト(アイヌ語地名) …… 170  
 土製品(どせいひん) …… 96, 99  
 渡船(とせん) …… 129, 176~177, 182, 184  
 渡船場(とせんば) …… 172, 176, 177  
 土地(とち) …… 137, 144, 149, 156, 162, 164, 165, 166, 185

トツバツ亜氷期(トツバツあひょうき) …… 53  
 戸蔭別川(とつたべつがわ) …… 52, 57, 65, 99, 177, 215, 230~231, 232  
 トドマツ …… 80, 81, 84, 96, 128, 180  
 トビニタイ文化(トビニタイぶんか) …… 103  
 トブヨカオロ(アイヌ語地名) …… 127  
 途別川(とべつがわ) …… 54, 57, 92, 96, 126, 239  
 斗満川(とまむがわ) …… 180, 233  
 豊頃丘陵(とよころきゅうりょう) …… 32, 34, 40  
 豊頃村(とよころむら) …… 157, 193, 197  
 「豊頃よもやま話作品集 あかだも」(とよころよもやまばなしさくひんしゅうあかだも) …… 191, 192~193, 221, 233  
 豊似川(とよにがわ) …… 177  
 豊似川層(とよにがわそう) …… 31  
 トラス構造(トラスこうぞう) …… 131  
 ドリームズ・カム・トゥルー …… 231  
 トリカブト …… 115, 121, 145  
 とりすぎ …… 145, 146, 158  
 ドングリ …… 84, 90, 96

■ な ■

ナイ(アイヌ語) …… 126, 127, 135, 201  
 内耳鉄なべ(ないじてつなべ:内耳鉄鍋) …… 105  
 内耳土器(ないじどき) …… 105  
 内湾(ないわん) …… 32, 34, 36  
 ナウマンゾウ …… 50~51, 52  
 ナウマン象記念館(ナウマンぞうきねんかん) …… 50~51, 62  
 中足寄(なかあしよろ) …… 148, 158  
 長いも(ながいも:長芋) …… 61  
 中川郡(なかがわぐん) …… 157, 159  
 中札内面(なかさつないめん) …… 49, 54  
 中条ふみ子(なかじょうふみこ) …… 233  
 ナガスクジラ …… 34  
 なかとかち浄水場(なかとかちじょうすいじょう) …… 214  
 中村要吉(なかむらようきち) …… 151  
 長良川(ながらがわ) …… 165, 237  
 ナキウサギ …… 62, 63, 64  
 七十石舟(ななじゅうこくぶね) …… 175, 179  
 並杭(なみくい) …… 207, 208, 212

■ に ■

新冠(にいかつぷ) …… 139  
 新津繁松(にいっしげまつ) …… 163, 178, 179  
 ニヴフ …… 113

第1章 十勝の平野と川がでる町

第2章 先史時代と川

第3章 アイヌ文化と川

第4章 十勝開拓と川

第5章 発展、今、そして未来へ

用語

なび

二級町村(にきゅうちょうそん)… 157  
 西足寄村・西足寄町(にしあしよろむら)にしあしよろちょう …… 157  
 西士狩4遺跡(にししかり4いせき) …… 93  
 ニジマス …… 219  
 二十五石舟(にじゅうごこくぶね) …… 175, 179  
 日露戦争(にしろせんそう) …… 184, 196  
 日清戦争(にっしんせんそう) …… 163, 196  
 日中戦争(にっちゅうせんそう) …… 196, 197  
 ニトマップ(アイヌ語地名) … 142  
 二宮尊親(にのみやそんしん) …… 165, 167  
 ニホンアシカ …… 34  
 ニホンザリガニ …… 219  
 日本北東航海旅行記(にほんほくとうこうかいりょこうき) …… 151  
 入植(にゅうしょく) …… 146, 147, 158~159, 162~167, 168, 179, 181, 185, 187, 188, 192, 195, 233  
 入地(にゅうち) …… 162, 165, 167  
 「人間の土地」(にんげんのとち) …… 232

■ め ■  
 糠内川(ぬかないがわ) … 201, 215  
 糠平湖岸遺跡(ぬかびらこがにいせき) …… 71, 79, 101  
 糠平ダム(ぬかびらダム) …… 215  
 糠平発電所(ぬかびらはつでんしょ) …… 215  
 ヌサ(アイヌ語) …… 131, 133, 134  
 ヌツク川 …… 174, 238, 275  
 ヌツクノツク川 …… 232  
 布(ぬの) …… 99, 103, 112, 121, 133, 136, 141, 151

■ ね ■  
 ネットレス …… 99  
 根室県(ねむろけん) …… 143, 148, 156  
 ネムロコウホネ …… 216  
 粘板岩(ねんばんがん) …… 29

■ の ■  
 農業(のうぎょう) … 61, 104, 112, 118, 148~149, 158, 159, 162~167, 173, 185, 186, 193, 194, 195, 200, 213, 214, 216, 229, 233, 245  
 農業指導(のうぎょうしどう) …… 143, 148  
 農業用水(のうぎょうようすい) …… 195, 213, 214  
 農耕(のうこう) …… 87, 104, 112, 148, 166, 228

農場(のうじょう) …… 143, 159, 164, 165, 166, 167, 185, 198, 232  
 農地(のうち) … 144, 149, 160, 165, 185, 190, 209, 229, 239, 246, 247  
 農地改革(のうちかいかく) …… 149, 185  
 農地解放(のうちかいほう) … 185  
 濃尾地震(のうびじしん) …… 165  
 野塚川(のつかがわ) …… 177  
 ノッカマップ(アイヌ語地名) …… 141  
 飲み水(のみみず) …… 214, 241  
 野村慈教(のむらじきょう) …… 168, 169  
 野焼き(のやき) …… 89

■ は ■  
 パークゴルフ …… 224, 240  
 廃棄の場(はいきのば) … 94~95  
 廃水(はいすい) …… 174, 215, 246  
 敗戦(はいせん) …… 149, 185, 196, 197  
 バイソン …… 62, 64, 72, 80, 84  
 ハイマツ …… 62, 64, 72, 81  
 ハエ(アイヌ語地名) …… 138  
 墓(はか) …… 70, 94, 95, 96~98, 99, 100  
 白亜紀(はくあき) …… 25  
 羽口(はぐち) …… 104  
 白頭山(はくとうさん・ペクトウサン) …… 61  
 白頭山火山灰(はくとうさんかざんばい) …… 61  
 柏林台川(はくりんだいがわ) … 239  
 函館県(はこだてけん) … 143, 156  
 函館農場(はこだてのうじょう) …… 166  
 運ぶ力(はこぶちから) …… 57, 65  
 ハザードマップ …… 220  
 橋(はし) …… 176, 182~183, 184, 206, 207, 231  
 土師器(はじき) …… 104  
 場所(ばしょ) …… 137, 138, 140, 141, 156  
 場所請負制度(ばしょうけおいせいど) …… 140  
 畑(はたけ) …… 57, 61, 100, 104, 148, 170, 178, 186, 187, 192, 193, 199, 210, 211, 213, 214, 216, 218, 220, 229, 236, 240, 246  
 発掘(はくくつ) …… 50, 51, 〇70, 76, 77, 79, 82, 83, 90, 91, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 100, 101, 102, 103, 104, 105, 117  
 発電(はつでん) …… 213, 214, 215  
 発電所(はつでんしょ) … 215, 241  
 発電用水(はつでんようすい) … 214  
 馬頭観音(ばとうかんのん) …… 196, 199  
 花火大会(はなびたいかい) … 225

歯のあるヒゲクジラ(はのあるヒゲクジラ) …… 26  
 馬場猪之吉(ばばいのきち) …… 143, 158  
 ハムシ …… 40, 41  
 林の沢川(はやしのさわがわ) …… 201  
 パラト川(パラトがわ) …… 142, 174  
 パラトプト …… 142  
 針(はり) … 99, 104, 133, 136, 142  
 ハルニレ …… 84, 114  
 パルプ工場(パルプこうじょう) …… 180  
 パレオパラドキシア … 26, 27, 31  
 「晴れたらいいね」(はれたらいいね) …… 231  
 パンケ新得川(パンケしんとくがわ) …… 127  
 晩成社(ばんせいしゃ) …… 143, 146, 147, 158, 168, 198, 233  
 板東農場(ばんどうのうじょう) …… 166  
 番屋(ばんや) …… 158  
 氾濫原(はんらんげん) …… 46, 49, 54, 56, 61, 76, 78, 97, 240, 241, 242, 243  
 はんれい岩(はんれいがん: 斑れい岩) …… 29

■ ひ ■  
 ビーズ玉(ビーズだま) …… 99  
 ヒエ(稗) …… 112, 118  
 火起こし(ひおこし) …… 89  
 ピオロ(アイヌ語地名) …… 127  
 引き揚げ者(ひきあげしゃ) … 185  
 ヒグマ …… 84, 134  
 ヒゲクジラ …… 26  
 久島重義(ひさしましげよし) … 165  
 ヒシ …… 121, 216  
 ヒシモドキ …… 216  
 氷頭(ひず) …… 123, 124  
 美生川(びせいがわ) …… 94, 95, 126, 180, 201, 214, 215  
 美生ダム(びせいダム) …… 214  
 日高山脈(ひだかさんみゃく) …… 24, 26, 28~30, 31, 32, 44, 45, 46, 48, 52~53, 54, 57, 62, 72, 73, 76, 80, 91, 114, 181, 247  
 飛騨屋(ひだや) …… 140~141  
 一橋家(ひとつばしけ) …… 143  
 人舞村(ひとまいむら) …… 157  
 ピバ(アイヌ語) …… 126  
 ピパイロ(アイヌ語地名) …… 126, 201  
 ピボク(アイヌ語地名) …… 139  
 美蔓台地(びまんたいち) …… 47  
 美蔓面(びまんめん) …… 47  
 美蔓れき層(びまんれきそう: ~礫層) …… 45, 46, 47

ヒメカンバ類(ヒメカンバるい) …… 63  
 樋門(ひもん) …… 213  
 氷河(ひょうが) …… 18, 52~53, 62, 72, 76, 80, 96  
 氷期(ひょうき) …… 18, 50, 52~53, 58, 62~63, 64, 72, 76, 82  
 ピョウタンの滝(ピョウタンのたき) …… 215  
 開き分け(ひらきわけ) …… 165  
 平底舟(ひらぞこぶね) …… 175  
 美里別川(びりべつがわ) …… 32, 43, 74, 177, 180  
 ピルイペツ(アイヌ語地名) … 127  
 ヒレ(鱧) …… 123, 124, 125  
 ピロウ(アイヌ語地名) … 140, 141  
 広尾川(ひろおがわ) …… 127, 177  
 広尾郡(ひろおぐん) …… 157, 159  
 広尾小学校(ひろおしょうがっこう) …… 168  
 広尾村(ひろおむら) …… 157, 197  
 ピロロ(アイヌ語地名) …… 127  
 ピンニ(アイヌ語) …… 128, 130

■ ふ ■  
 ファッション …… 99  
 ふいご …… 104  
 風化(ふうか) …… 45  
 ふ化(ふか) …… 174, 217, 236, 246, 247  
 ふ化場(ふかじょう) …… 174, 236  
 福井団体(ふくいだんたい) …… 166, 167  
 複合古砂丘(ふくごうこさきゅう) …… 61  
 ブクサ(アイヌ語) … 115, 121, 124  
 福嶋屋(ふくしまや) …… 140  
 フクジュソウ …… 115  
 副葬品(ふくそうひん) … 94, 98, 100  
 伏流水(ふくりゅうすい) …… 171, 240, 244  
 伏古別川(ふしこべつがわ) … 239  
 伏根弘三(ふしねこうぞう) … 149  
 藤原氏(ふじわらし) …… 111  
 仏教(ぶつぎょう) …… 168, 198  
 ブドウづる …… 101, 128  
 舟着き場(ふなつきば) …… 160, 175, 179, 184, 196  
 舟(ふね) …… 87, 93, 101, 119, 120, 128~129, 142, 143, 151, 160, 161, 172, 174, 175, 176, 178, 179, 182, 184, 187, 207, 211, 226  
 船(ふね) …… 128, 137, 151, 164, 178, 179, 207, 211, 239  
 フナニ(アイヌ語) …… 128  
 フリース …… 151  
 古川(ふるかわ) …… 210  
 「ふるさとの語り部」(ふるさとのかたりべ) …… 233  
 プレート …… 23, 24, 28, 31



ブレスレット ..... 99  
 噴煙(ふんえん) ..... 36  
 噴火(ふんか) ..... 21, 36, 38, 42, 58, 73, 139  
 文学(ぶんがく) ..... 232  
 文化財保護法(ぶんかざいほごほう) ..... 70  
 分監(ぶんかん) ..... 160, 180  
 噴氣(ふんき) ..... 33, 38

■ へ ■

ヘアピン ..... 99  
 平安時代(へいあんじだい) ..... 110  
 平行ラミナ(へいこうラミナ) ..... 43  
 平氏(へいし・たいらし) ..... 111  
 平地式住居(へいちしきじゅうきよ) ..... 112  
 平和遺跡(へいわいせき) ..... 93  
 ベースキャンプ ..... 76, 82  
 ベカンペ(アイヌ語) ..... 121  
 ベケルペツ(またはペケルペツ: アイヌ語地名) ..... 127  
 ベケレベツ川 ..... 127  
 ペツ(アイヌ語) ..... 126, 127, 135, 201  
 ペテガリ岳(ペテガリだけ) ..... 52~53  
 ペペギリ川 ..... 57  
 ベヘモトブス ..... 26~27, 31  
 ベラアイ(アイヌ語) ..... 118  
 ベラボナイ川 ..... 96  
 ベルツナイ(アイヌ語地名) ..... 127, 201  
 ペロコムニ(アイヌ語) ..... 128  
 変成岩(へんせいがん) ..... 24, 28, 29  
 偏西風(へんせいふう) ..... 58, 61, 73  
 ペンダント ..... 92, 99  
 片麻岩(へんまがん) ..... 29

■ ほ ■

墓域(ほいき) ..... 97  
 放射性炭素(ほうしやせいたんそ) ..... 70  
 放射性同位元素(ほうしやせいどういげんそ) ..... 22  
 紡錘車(ほうすいしゃ) ..... 103  
 放流(ほうりゅう) ..... 174, 219, 229, 236, 238, 246, 247  
 ボート ..... 226  
 ボーリング ..... 21, 81  
 牧畜(ぼくちく) ..... 163  
 北明1遺跡(ほくめい1いせき) ..... 94  
 干し魚(ほしぎかな) ..... 122  
 干しザケ(ほしザケ) ..... 123, 136, 138, 141, 147  
 細川繁太郎(ほそかわしげたろう) ..... 158

細谷源二(ほそやげんじ) ..... 233  
 細谷十太夫(ほそやじゅうだゆう) ..... 158  
 保存(ほぞん) ..... 123, 130, 150  
 ホタテガイ ..... 32, 33, 86, 91  
 墓地(ぼち) ..... 97  
 北開川(ほっかいがわ) ..... 201  
 北海道(ほっかいどう) ..... 24, 26, 28, 32, 34, 62, 64, 72, 74, 80, 83, 84, 86, 99, 100, 102, 105, 110, 111, 112, 113, 123, 131, 136, 137, 138, 140, 142, 143, 144, 156, 159, 162, 163, 164, 174, 239  
 北海道エールセンター(ほっかいどうエールセンター) ..... 239  
 北海道旧土人保護法(ほっかいどうきゅうどじんほごほう) ..... 149, 150, 185  
 北海道庁(ほっかいどうちよう) ..... 143, 156, 163, 174  
 北方民族(ほっぽうみんぞく) ..... 113  
 ホテネ ..... 149  
 骨(ほね) ..... 21, 26~27, 30, 34, 50~51, 73, 75, 78, 79, 87, 92, 93, 96, 98, 100, 101, 104, 105, 117, 121  
 ホルンフェルス ..... 29  
 ホロカヤント一堅穴群(ホロカヤント一たてあなぐん) ..... 71, 103, 105  
 ホロカヤント一沼(ホロカヤント一ぬま) ..... 103  
 ポロシリ亜氷期(ポロシリあひょうき) ..... 53  
 「ポロヌイ峠」(ポロヌイとうげ) ..... 232  
 本州(ほんしゅう) ..... 24, 62, 64, 83, 86, 87, 99, 100~101, 102, 103, 104, 105, 110, 112, 113, 121, 133, 136, 137, 143, 164, 178, 180  
 盆地(ぼんち) ..... 23, 36, 40  
 ポンペツ(アイヌ語地名) ..... 127  
 本別川(ほんべつがわ) ..... 127  
 本別空襲(ほんべつくうしゅう) ..... 197  
 本別層(ほんべつそう) ..... 33  
 本別発電所(ほんべつはつでんしょ) ..... 215  
 本別村(ほんべつむら) ..... 157

■ ま ■

曲がりくねる(まがりくねる) ..... 114, 170, 188, 190, 210, 217, 228  
 マガン ..... 216, 229  
 マキリ(アイヌ語) ..... 133  
 幕別川(まくべつがわ) ..... 127  
 幕別扇状地れき層(まくべつせんじょうちれきそう: ~礫層) ..... 47, 48, 64  
 幕別台地(まくべつだいち) ..... 40

幕別ダム(まくべつダム) ..... 214  
 幕別町蝦夷文化考古館(まくべつちようえぞぶんかこうこかん) ..... 128, 150, 151  
 幕別村(まくべつむら) ..... 157, 197  
 幕別面(まくべつめん) ..... 48, 49  
 マグマ ..... 23, 29, 33, 36, 38, 58  
 マクンペツ(アイヌ語地名) ..... 127  
 マス(鱒) ..... 72, 93, 141, 143, 147, 173, 243, 245  
 増田立吉(ますだたてきち) ..... 194  
 松浦武四郎(まつうらたけしろう) ..... 126, 129, 133, 142, 156, 159  
 マッチ軸木(製軸)工場(マッチじくぎ[せいじく]こうじよう) ..... 180, 187  
 松前氏(まつまえし) ..... 137  
 松前藩(まつまえはん) ..... 137, 138~141, 142, 158  
 祭り(まつり) ..... 110, 134, 198  
 間宮海峡(まみやかいきよう)=タタール海峡(タタールかいきよう) ..... 62  
 豆(まめ) ..... 159, 163, 165, 193, 195  
 丸木舟(まるきぶね) ..... 87, 93, 101, 119, 120, 128~129, 142, 143, 151, 159, 175, 176, 179, 187, 226  
 マルタ ..... 93  
 丸山(まるやま) ..... 33, 38  
 マレク(アイヌ語) ..... 118, 119, 120, 122, 129, 135, 146, 151  
 マレック漁の集い(マレックりょうのつどい) ..... 120, 128, 129, 135, 245  
 満州(まんしゅう) ..... 185  
 マントル ..... 29, 31  
 マンモス ..... 21, 51, 62, 64, 72, 73, 80, 84

■ み ■

三浦等六(みうらとうろく) ..... 158, 175  
 御影(みかげ) ..... 31, 157, 201  
 御影石(みかげいし) ..... 30, 31, 201  
 御影川(みかげがわ) ..... 201  
 御影村(みかげむら) ..... 31, 157  
 ミクリ ..... 216  
 水遊び(みずあそび) ..... 224, 227  
 湖(みずうみ) ..... 36, 32, 36, 40, 42, 43, 200, 215, 244  
 水草(みずぐさ) ..... 40, 41, 121, 130, 216, 222, 243  
 ミズナラ ..... 64, 84, 96, 114, 128  
 水の神(みずのかみ) ..... 135, 199, 200  
 水辺の楽校(みずべのがっこう) ..... 225, 239  
 道(みち) ..... 39, 57, 73, 78, 126, 128, 135, 143, 145, 159, 160, 169, 175, 176, 178~179, 182, 225, 239, 245

ミツガシワ ..... 40~41, 43  
 三股(みつまた) ..... 33, 36, 39, 74, 78  
 密漁(みつりよう) ..... 174  
 密猟(みつりよう) ..... 145, 158  
 皆川周大夫(みながわしゅうだゆう) ..... 142  
 南町2遺跡(みなみまち2いせき) ..... 79, 81  
 源氏(みなもとし・げんじ) ..... 111  
 源頼朝(みなもとのよりとも) ..... 111  
 美濃開墾合資会社(みのかいこんごうしがいしゃ) ..... 166  
 美濃の家(みののいえ) ..... 166  
 耳かざり(みみかざり: 耳飾り) ..... 94, 95, 96, 98, 99  
 「みみずのたはこと」(みみずのたわこと) ..... 233  
 宮崎濁卑(みやざきだくひ) ..... 148, 149, 158  
 宮本遺跡(みやもといせき) ..... 71, 94  
 ミンククジラ ..... 26  
 ミントチカムイ(アイヌ語) ..... 135

■ む ■

昔話(むかしばなし) ..... 132, 150  
 無願開墾(むがんかいこん) ..... 162~163, 166  
 無願の坂(むがんのさか) ..... 40, 47  
 麦(ムギ) ..... 104~105, 173, 194, 195  
 武儀団体(むぎだんたい) ..... 166, 167  
 ムックル(アイヌ語) ..... 132, 133, 136, 150

■ め ■

雌阿寒岳(めあかんだけ) ..... 38  
 芽登川(めとうがわ) ..... 47, 74  
 メナシ(アイヌ語地名) ..... 140~141  
 メム(アイヌ語地名) ..... 158  
 芽室川(めむろがわ) ..... 42, 127, 210, 215  
 芽室村(めむろむら) ..... 157  
 メモロベツ(アイヌ語地名) ..... 127  
 メン川 ..... 171, 189

■ も ■

モール温泉(モールおんせん) ..... 43  
 最上徳内(もがみとくない) ..... 142  
 木材(もくぎ) ..... 141, 159, 161, 180~181, 199  
 木製品(もくせいひん) ..... 87, 93, 104, 105  
 もぐり橋(もぐりばし) ..... 206, 207, 231  
 モチャロク ..... 143, 147, 148, 158  
 木橋(もつきよう) ..... 182, 183

第1章 十勝の平野と川がでる町  
 第2章 先史時代と川  
 第3章 アイヌ文化と川  
 第4章 十勝開拓と川  
 第5章 発展、今、そして未来へ

用語  
 わんこ

モッケナシ(アイヌ語地名)  
 ..... 143, 158  
 紅葉山49号遺跡(もみじやま49ご  
 ういせき) ..... 87, 93  
 木綿(もめん) ..... 112, 121, 136  
 茂寄村(もよるむら・もよりむら)  
 ..... 157, 159  
 モリ(鋸) ..... 93, 101  
 モンゴル ..... 92, 111  
 門別(もんべつ) ..... 138  
 紋別川(もんべつがわ) ..... 177  
 文様(もんよう) ..... 70, 83, 86,  
 88, 92, 101, 102, 104, 113, 133

■ や ■

矢(や) ..... 83, 85, 86, 87, 90, 92,  
 110, 115, 118, 121, 136, 139, 145  
 焼き石(やきいし) ..... 76  
 焼き干し(やきぼし) ..... 101  
 ヤジリ(矢尻・嶽)  
 ... 83, 86, 92, 104, 118, 121, 136  
 ヤス ..... 93, 101  
 ヤス(アイヌ語) ..... 119  
 ヤチカンパ ..... 63, 64  
 ヤチダモ ..... 114, 128, 130, 172  
 谷地坊主(やちぼうず) ..... 172  
 八千代遺跡(やちよいせき)  
 ... 70, 71, 87, 90~91, 94, 99, 245  
 宿(やど) ..... 145, 163  
 ヤナギ .....  
 101, 119, 128, 180, 218, 228, 243

ヤナギタウコギ ..... 229  
 ヤブマメ ..... 121  
 矢別川(やべがわ) ..... 201  
 矢別団体(やべだんたい)  
 ..... 166, 167, 201  
 八岐大蛇(やまたのおろち) ... 200  
 大和(やまと) ..... 110~111, 113  
 大和朝廷(やまとちやうてい)  
 ..... 110~111, 199

山の神(やまのかみ)  
 ..... 134, 135, 199  
 ヤマブドウ ..... 90, 93, 128, 173  
 ヤマメ ..... 92, 173, 217, 238  
 止若橋(やむわつかばし) ..... 184  
 弥生時代(やよいじだい)  
 ..... 86, 87, 100

弥生文化(やよいぶんか) ..... 101  
 ヤラチブ(アイヌ語) ..... 128  
 ヤリ(槍)  
 ... 74, 76, 78, 80, 85, 86, 121, 141  
 ヤリ先(槍先) ... 74, 78, 80~81, 86

■ ゆ ■

有孔虫(ゆうこうちゅう)  
 ..... 32, 34, 35  
 有舌尖頭器(ゆうぜつせんとうき)  
 ..... 74, 80~81  
 湧洞沼(ゆうどうぬま) ..... 177  
 ユーラシアプレート ..... 24, 28

ユカタン半島(ユカタンはんとう)  
 ..... 25  
 ユク(アイヌ語)  
 ..... 115, 121, 141, 145  
 ユクエピラチャシ跡(ユクエピラ  
 チャシあと)  
 ..... 112, 116~117, 132  
 ユベ(アイヌ語) ..... 118  
 弓矢(ゆみや)  
 ..... 85, 87, 90, 121, 151

■ よ ■

溶結凝灰岩(ようけつぎょうかい  
 がん) ..... 37, 39  
 養蚕(ようさん) ..... 164  
 葉理(ようり) ..... 42, 43  
 よごれ(汚れ) ..... 240, 244, 246  
 ヨシ(別名アシ)  
 ..... 130, 172, 216, 227, 243  
 吉田川(よしだがわ) ..... 237  
 吉田菊太郎(よしだきくたろう)  
 ..... 150, 151  
 吉田十四雄(よしだとしお) ... 232  
 吉田美和(よしだみわ) ..... 231  
 吉屋信子(よしやのぶこ) ..... 232  
 依田勉三(よだべんぞう)  
 ..... 143, 147, 233  
 米村晃太郎(よねむらこうたろう)  
 ..... 232  
 ヨモギ ..... 222~223

■ ら ■

ライフジャケット ... 221, 226, 239  
 ライベツ川 ..... 182, 188  
 ラウラウ(アイヌ語) ..... 121  
 ラオマブ(アイヌ語) ..... 119  
 落葉広葉樹(らくようこうようじゆ)  
 ..... 84  
 楽古川(らっこがわ) ..... 177, 215  
 ラフティングボート ..... 226  
 ラミナ ..... 42, 43  
 乱獲(らんかく) ..... 145, 146

■ り ■

リウカ(アイヌ語) ..... 151  
 陸別川(りくべつがわ) ..... 127  
 陸別熊の沢川(りくべつくまのさ  
 わがわ) ..... 201  
 陸別村(りくべつむら) ..... 157  
 達別村(りくべつむら) ..... 157  
 リクンベツ(アイヌ語地名) ... 127  
 利水(りすい)  
 ..... 205, 213, 214~215  
 利水ダム(りすいだむ)  
 ..... 213, 215  
 リムセ(アイヌ語) ..... 132, 150  
 竜・龍(りゅう) ..... 200  
 龍神の滝(りゅうじんのたき) ... 200  
 流送(りゅうそう) ... 161, 180~181  
 流木アート(りゅうぼくアート) ... 235

流木プランター(りゅうぼくプラ  
 ンター) ..... 235  
 漁(りょう) ..... 73, 85, 90, 93, 100,  
 104, 112, 118~120, 128, 129, 135,  
 138, 140, 143, 145, 146, 148, 150,  
 158, 173, 174, 236, 245, 246, 247  
 領土(りょうど) ..... 144, 156  
 料理(りょうり) ..... 83, 85, 90,  
 101, 102, 105, 122~125, 195  
 林業(りんぎよう) ..... 180

■ る ■

ルイベ ..... 123  
 ルイベ(アイヌ語) ..... 122, 123  
 ルードロオマブ(アイヌ語地名)  
 ..... 135

■ れ ■

霊(れい)  
 ..... 95, 104, 122, 131, 182, 199  
 冷温帯(れいおんたい) ..... 22  
 れき(礫)  
 ..... 29, 44~45, 48, 54~55, 57,  
 59, 61, 218, 240, 241, 242, 244  
 れき岩(れきがん: 礫岩) ... 31, 33  
 歴史(れきし)  
 ..... 151, 182, 239, 247  
 れき層(れきそう: 礫層)  
 ..... 37, 45, 46, 47, 48, 49,  
 54~55, 57, 59, 240, 241, 244  
 歴舟川(れきふねがわ)  
 ..... 44, 47, 48, 49,  
 127, 135, 138, 142, 177, 201  
 歴舟中の川(れきふねなかのがわ)  
 ..... 135  
 礫器(れつき) ..... 76  
 レッドデータブック ..... 216, 218

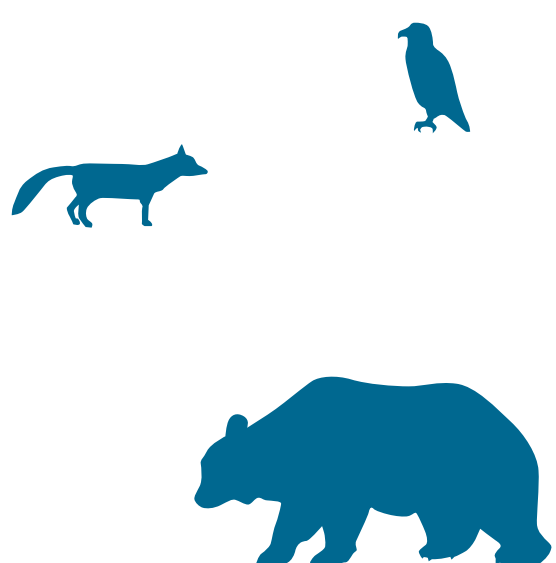
礼文内川(れぶんないがわ)  
 ..... 170, 171, 221  
 レリック ..... 63

■ ろ ■

炉(ろ)  
 ... 85, 90, 102, 105, 112, 123, 130  
 炉カギ(ろカギ: 炉鉤) ... 105, 130  
 ロシア ..... 142, 144, 196  
 炉だな(ろだな: 炉棚) ..... 130  
 露頭(ろとう) ..... 21, 37, 41  
 ロルンプヤル(アイヌ語) ... 130, 131

■ わ ■

若葉の森遺跡(わかばのもりいせ  
 き) ..... 70, 71, 76~77, 81, 182  
 「わが北海道」(わがほっかいどう)  
 ..... 233  
 わき水(わきみず)  
 ..... 85, 174, 238, 241  
 ワッカウシカムイ(アイヌ語)  
 ..... 135  
 ワシ(鷲)  
 ..... 96, 98, 110, 118, 136, 141  
 和人(わじん) ..... 110, 113,  
 116, 120, 121, 129, 131, 136~149,  
 151, 156, 158~159, 162, 168, 176,  
 199, 200, 201, 209, 246  
 和人化(わじんか) ..... 144, 148  
 和人地(わじんち)  
 ..... 113, 137, 138, 156  
 渡し舟(わたしぶね)  
 ..... 129, 176, 182, 184  
 渡辺カネ(わたなべカネ)  
 ..... 143, 168, 198  
 渡辺勝(わたなべまさる)  
 ..... 143, 147



第1章 十勝の平野や川が広がる時代

第2章 先史時代と川

第3章 アイヌ文化と川

第4章 十勝開拓と川

第5章 発展、今、そして未来へ

用語

おわりに



春のヌップク川 (常広市大正町基線)  
おびひろ し たいしやうちやう き せん

# 謝 辞

本冊子の作成にあたっては、以下の方々に多大なご助力・ご助言をいただきました。心より御礼申し上げます。

第1章 十勝の平野や川がどよめいて

第2章 先史時代と川

第3章 アイヌ文化と川

第4章 十勝開拓と川

第5章 発展、今、そして未来へ

用語

索引

會田正裕氏（独立行政法人 水産総合研究センター さけますセンター帯広事業所）  
足寄動物化石博物館  
足寄町総務課町史編さん室  
浦幌町立博物館  
大鳥居仁氏（陸別町教育委員会）  
岡孝雄氏（北海道立地質研究所）  
小川建設工業株式会社  
沖商店  
音更町農村環境改善センター郷土資料室  
帯広カムイトウウポポ保存会  
おびひろサケの会  
帯広市ジュニアリーダー養成講座 あすかの会リーダーキャンプ  
帯広市図書館  
帯広市立大正小学校  
おびひろ動物園  
帯広百年記念館  
帯広百年記念館アイヌ民族文化情報センター「リウカ」  
帯広百年記念館埋蔵文化財センター  
株式会社 河向組  
上士幌ウタリ文化伝承保存会  
川上英幸氏（社団法人北海道ウタリ協会上士幌支部）  
北原次郎太（財団法人アイヌ民族博物館）  
倉田亜以土氏（有限会社ベイトソン）  
財団法人 アイヌ民族博物館  
財団法人 郡上八幡産業振興公社  
財団法人 十勝エコロジーパーク財団  
更別村教育委員会  
澤村寛氏（足寄動物化石博物館）  
清水町立御影小学校  
シャクシャイン記念館  
社団法人 十勝釧路管内さけます増殖事業協会（札内さけますふ化場）  
社団法人北海道ウタリ協会 上士幌支部  
新ひだか町アイヌ民俗資料館  
水光園  
瀬藤範子氏（本別町歴史民俗資料館）  
忠類ナウマンゾウ記念館  
伝統農業保存伝承館・美濃の家  
東泉園  
十勝エコロジーパークガイドの会  
十勝川の歴史を探訪する会  
十勝の自然史研究会

独立行政法人 水産総合研究センター さけますセンター帯広事業所  
豊頃町教育委員会  
豊頃町豊寿大学文学科  
ドリカム池田町応援団  
中川直幸氏（豊頃町教育委員会）  
ヌップク川をきれいにする会  
野村辰博氏（上士幌ウタリ文化伝承保存会）  
日高山脈館  
北海道エールセンター  
北海道教育庁十勝教育局  
北海道立 十勝エコロジーパーク  
本別町歴史民俗資料館  
幕別町蝦夷文化考古館  
幕別町教育委員会  
幕別町教育委員会 教育課  
幕別町ふるさと館  
松村広美氏（帯広畜産大学）  
三笠市立博物館  
芽室町ふるさと歴史館ねんりん  
山本俊一氏  
陸別町教育委員会  
ほか、十勝管内 各市町村教育委員会  
(基本的にアイウエオ順。組織として重なる場合があります)

そのほかにも、多くの方々にさまざまな形でご協力いただいております。厚く御礼申し上げます。ご芳名の洩れをお許し下さい

● 写真・イラスト・絵画などを提供いただいた方々など

足寄町教育委員会

足寄町史（足寄町町史編纂臨時専門委員会、足寄町役場、1973）

足寄動物化石博物館

池田町教育委員会

池田町懐かしのアルバム 写真で綴る池田町史（池田町企画振興課池田町史編纂室、池田町長石井明、1922）

石狩市教育委員会

伊藤由紀子氏

浦幌町教育委員会

浦幌町立博物館

江別市郷土資料館

音更町郷土資料室

帯広百年記念館

帯広百年記念館埋蔵文化財センター

北澤実氏

財団法人 アイヌ民族博物館

財団法人 十勝エコロジーパーク財団

佐々木雅修氏

佐藤敏郎氏

上徳善司氏

辻博希氏（Office Rera）

天理大学附属天理図書館

東京国立博物館・株式会社DNPアーカイブ・コム

十勝川写真で綴る変遷（『十勝川写真で綴る変遷』企画編集委員会、（財）河川環境管理財団、1993）

十勝国産業写真帖（北海道河西支庁、1911）

十勝の自然史研究会

特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構 北海道大学名誉教授 宇井忠英氏

豊頃町史（豊頃町史編さん委員会、豊頃町役場、1971）

函館市中央図書館

平譯正勝氏

藤山広武氏

北海道開拓記念館

本別町歴史民俗資料館

幕別町教育委員会

幕別町教育委員会教育課

芽室町ふるさと歴史館ねんりん

陸別町教育委員会

（アイウエオ順。組織として重なる場合があります）

# アドバイザー

本冊子の作成にあたっては、以下の方々に、立案構成・情報収集・表現方法の決定・内容のチェック、さらには作成作業に至るまで、多岐に渡ってご協力をいただきました。

この場を借りて、深く御礼申し上げます。

うちだ ゆういち  
内田 祐一 氏（帯広百年記念館学芸員）

おお た のぼる  
太田 昇 氏（「川の駅」十勝川 運営委員会代表）

かじ のり あき  
梶 紀明 氏（大樹町立大樹中学校教諭）

きた さわ みのる  
北澤 実 氏（帯広百年記念館学芸員）

ふじ やま ひろむ  
藤山 広武 氏（十勝の自然史研究会代表）

やま さき ひとし  
山崎 徹 氏（十勝管内高等学校退職校長会会長）

（アイウエオ順、肩書きは平成19年）

十勝の川をフィールドとした総合的学習の手引き

## 時をこえて十勝の川を旅しよう！

2008年（平成20年）初版発行

発行：北海道開発局 帯広開発建設部  
〒080-8585 北海道帯広市西4条南8丁目  
Tel.0155-24-4121（代表） Fax.0155-27-2377

編集：財団法人 北海道開発協会  
〒001-0011 北海道札幌市北区北11条西2丁目  
セントラル札幌北ビル  
Tel.(011)709-5219 Fax.(011)709-5227

写真：北海道開発局帯広開発建設部・アークコーポレーション(株)

イラスト・デザイン：アークコーポレーション(株)

（いずれも特に記載してある場合を除く）



**時をこえて十勝の川を旅しよう！**

十勝の川の成り立ちから、川の歴史・文化まで

あしたを創る 北の知恵  
北海道開発局



**帯広開発建設部**

**第1章 十勝の平野や川ができるまで**

**第2章 十勝の先史時代と川**

**第3章 十勝のアイヌ文化と川**

**第4章 十勝開拓と川**

**第5章 発展、今、そして未来へ**